

令和 7 年度

南国市保健福祉センター屋根改修工事

図 面 リ ス ト									
意 匠 図					鉄 骨 図			電 気 設 備 図	
A-01	改修特記仕様書（１）	A-11	北棟 断面詳細図（改修前）	A-21	建具表・家具図	S-01	構造特記仕様書（１）	E-01	特記仕様書
A-02	改修特記仕様書（２）	A-12	北棟 断面詳細図（改修後）	A-22	部分詳細図	S-02	構造特記仕様書（２）	E-02	電気設備機材指定表
A-03	工事概要、付近見取図、配置図兼外部仮設計画図	A-13	北棟 屋上断面詳細図（改修前）			S-03	小屋伏図	E-03	１・２階平面図、南棟 屋根伏図
A-04	仕上表（改修前・後）	A-14	北棟 屋上断面詳細図（改修後）			S-04	軸組図、鉄骨詳細図		
A-05	１・２階平面図、南棟 屋根伏図（改修前・後）	A-15	南棟 断面詳細図（改修前・後）						
A-06	北棟 屋根伏図（改修前・後）	A-16	既存トップライト撤去図-1						
A-07	立面図（改修前）	A-17	既存トップライト撤去図-2						
A-08	立面図（改修後）	A-18	新設塔屋 断面詳細図						
A-09	北棟 ビロティ断面詳細図（改修前）	A-19	既存ブラインド図-1（参考図）						
A-10	北棟 ビロティ断面詳細図（改修後）	A-20	既存ブラインド図-2（参考図）						

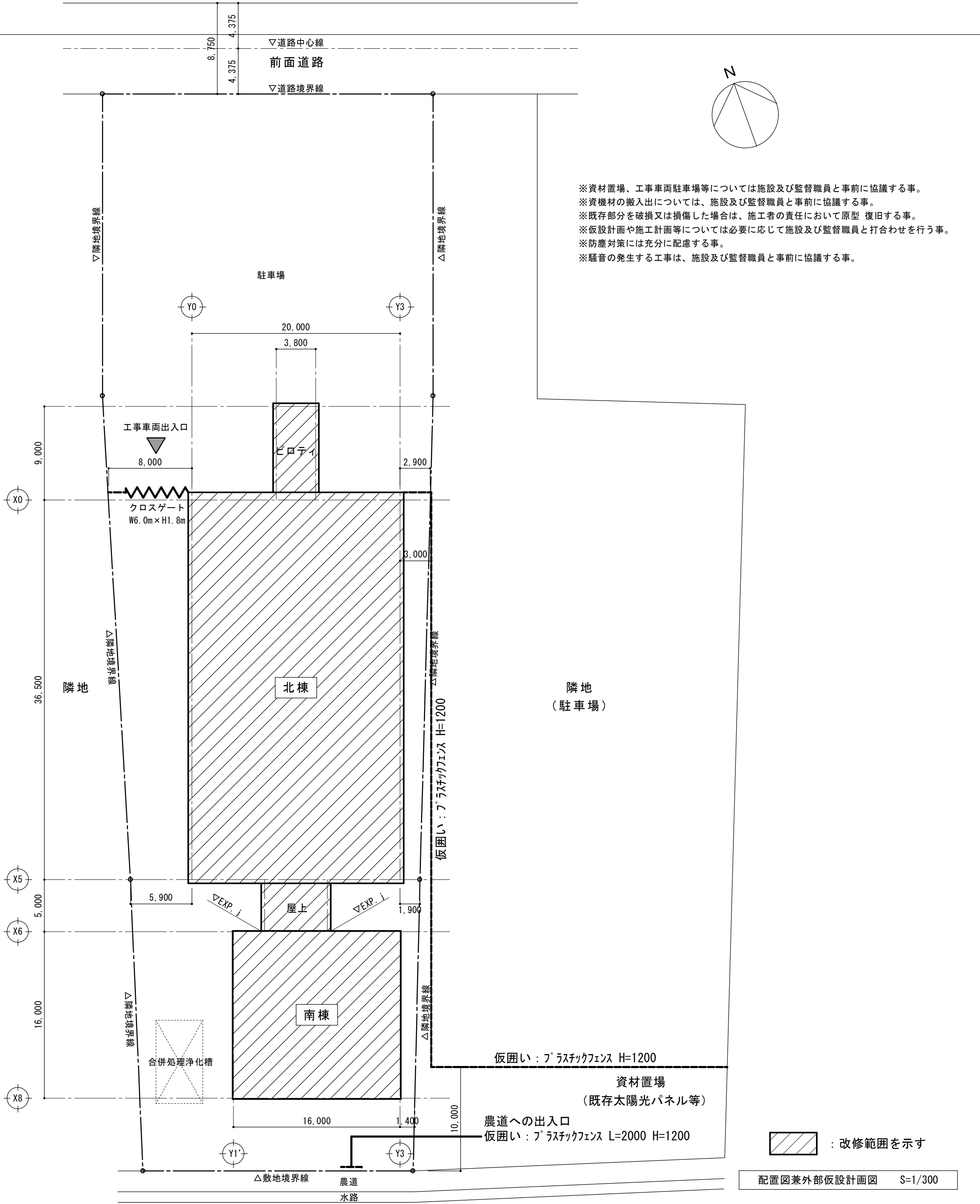
[illegible]

工 事 概 要
・ 屋根改修
・ 防水改修
・ トップライトの撤去、排煙窓の新設
・ 雨漏りに伴う、内装改修・家具改修
・ 屋根改修に伴う太陽光パネルの一時撤去・再設置（電気設備工事）
・ アンテナ取替え



工事場所：高知県南国市大桶甲320

付近見取図



※資材置場、工事車両駐車場等については施設及び監督職員と事前に協議する事。
※資機材の搬入出については、施設及び監督職員と事前に協議する事。
※既存部分を破損又は損傷した場合は、施工者の責任において原型 復旧する事。
※仮設計画や施工計画等については必要に応じて施設及び監督職員と打合わせを行う事。
※防塵対策には充分に配慮する事。
※騒音の発生する工事は、施設及び監督職員と事前に協議する事。

：改修範囲を示す

配置図兼外部仮設計画図 S=1/300

ARTICLE	※ A 2 → A 3 縮小 (71%)				担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE		A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市知事町1-5-1 三建ビル4F Tel./Fax:088-881-1676 一級建築士事務所 高知県印事務許可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大印) 第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
								SUBJECT	工事概要、付近見取図、配置図兼外部仮設計計画図	SCALE	1/300			A — 03

外部仕上表

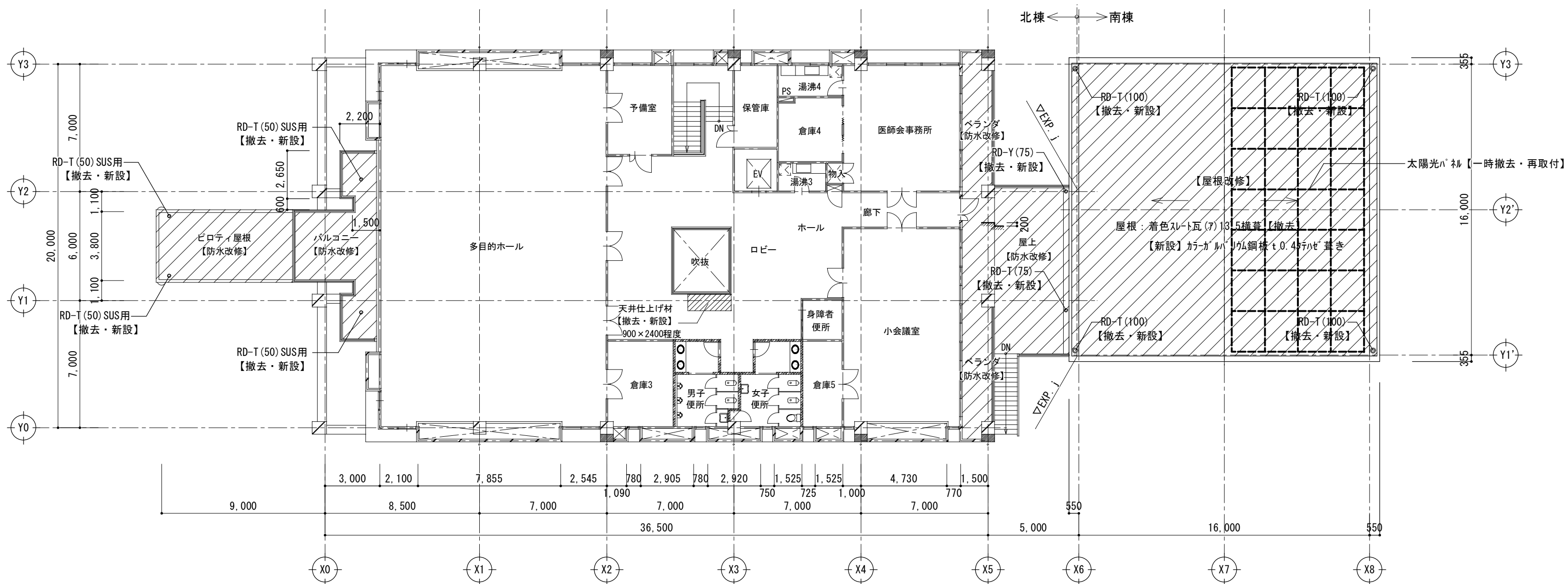
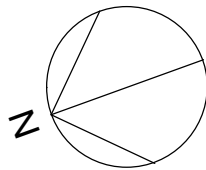
耐火・準耐火： ☐耐火構造 ☐準耐火構造(口一) ☒一般構造 (口22条地域)

棟名	部位	部分	改修前		改修後		棟名	部位	部分	改修前		改修後	
			記号	仕様	記号	仕様				記号	仕様	記号	仕様
北棟	屋根			着色スレート瓦(7)13.5横葺き【撤去】 7スファルトーフینگ' 22kg、耐火野地板(7)18		カラーガルバリウム鋼板 t 0.49テビレ' 葺き、改質7スファルトーフینگ'、 構造用合板 t12、桧木45×45+断熱材敷き t30	北棟 (屋上)	屋上・ベランダ バルコニー		平場：露出複合塗膜防水 立上：露出複合塗膜防水 (FL+200)、7mm防水押え【撤去】		平場：下地調整の上 塗膜防水 (X-2)+ノンスリップビニル床シート張り t2.5 立上：下地調整の上 塗膜防水 (X-2)、7mm防水押え金物 1-30	
		軒先・ケラバ		7mm平板(7)1.5曲加工		【既存のまま】				ドレイン	塩ビ製ルーフトレインφ75【撤去】、塩ビ製コーナードレインφ75【撤去】 SUS製ルーフトレインφ50【撤去】		改修用ルーフトレインφ75、改修用コーナードレインφ75 改修用ルーフトレインφ50
		軒裏		7mm平板(7)1.5曲加工【ドレイン部分一時撤去】		既存7mm平板(7)1.5曲加工【ドレイン部分再取付】				縦樋	VPφ75、SUSφ50		【既存のまま】
		内樋		ステンレス(7)0.4、コンパネ(7)12下地、自在ドレイン塩ビ製100φ【撤去】		ステンレス箱樋 t0.4加工 (カバー工法)、塩ビ製ドレインφ100				その他			塩ビ製ノンスリップ段鼻シート
		縦樋		VP100φ VP塗装		【既存のまま】							
	外壁			2丁掛タイル、山型タイル、50角モザイクタイル		【既存のまま】							
北棟 (トップライト部分)	屋根			7mm製建具【撤去】		カラーガルバリウム鋼板 t 0.49テビレ' 葺き、改質7スファルトーフینگ'、 構造用合板 t12、桧木45×45+断熱材敷き t30、耐火野地板張り t18	ピロティ	屋根		平場：露出複合塗膜防水		平場：下地調整の上 塗膜防水 (X-2)	
						ドレイン			SUS製ルーフトレインφ50【撤去】		改修用ルーフトレインφ50		
						縦樋			SUSφ50		【既存のまま】		
		軒先・ケラバ		カラーガルバリウム鋼板 t 0.4加工				南棟	屋根		着色スレート瓦(7)13.5横葺き【撤去】 7スファルトーフینگ' 22kg、耐火野地板(7)18		カラーガルバリウム鋼板 t 0.49テビレ' 葺き、改質7スファルトーフینگ'、 構造用合板 t12、桧木45×45+断熱材敷き t30
		軒裏			塗装けい酸加シウム板張り t6、LGS天井下地組					軒先・ケラバ	7mm平板(7)1.5曲加工		【既存のまま】
	軒樋			塩ビ製軒樋W150 (SUS受金物@1000)		軒裏	7mm平板(7)1.5曲加工【ドレイン部分一時撤去】				既存7mm平板(7)1.5曲加工【ドレイン部分再取付】		
	縦樋			カラーVPφ75 (SUS握み金物@1000)		内樋	ステンレス(7)0.4、コンパネ(7)12下地、自在ドレイン塩ビ製100φ【撤去】				ステンレス箱樋 t0.4加工 (カバー工法)、塩ビ製ドレインφ100		
	外壁					金属タイルディング張り t15、透湿防水シート張り、構造用合板張り t12			VP100φ VP塗装		【既存のまま】		
								外壁		2丁掛タイル、山型タイル、50角モザイクタイル		【既存のまま】	

内部仕上表

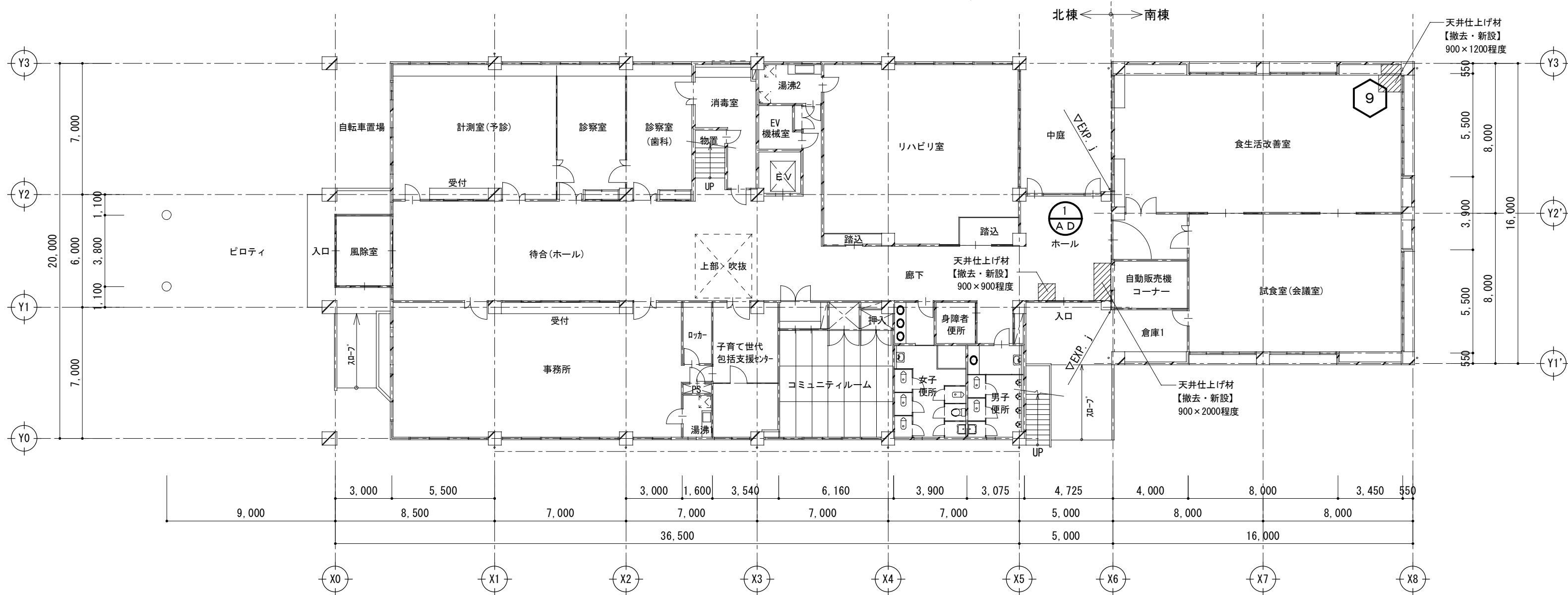
棟	階	室名		符号	床仕上		符号	巾木		符号	壁仕上		符号	天井仕上		天井下地		廻縁	天井高さ	備考	
北棟	1	ホール	(改修前)	[F1]	塩ビシート(7)3.0	モルタル金ごて下地	[HT]	テラゾータイル巾木 H=75	[WT]	セラミック系人造木材(7)12 AEP	コンパネ(7)12下地	[C1]	ロックウール吸音板(7)15+PB(7)9.0下張り 【雨漏り部分のみ撤去】 (900×900程度)	L G S	塩ビ	2.725	ガラス破損部分【取替え】				
			(改修後)		【既存のまま】		【既存のまま】		【既存のまま】		ロックウール吸音板 t 15+GB-R t 9.0下張り 【雨漏り部分のみ張替え】										
	2	ホール・ロビー	(改修前)	[F1]	塩ビシート(7)3.0	モルタル金ごて下地	[HT]	ソフト巾木 H=75	[W1]	JB(7)12 (ジョイント部分寒冷紗ハテ抜き) 内装用吹付	L G S RC面GL工法	[C2]	ロックウール吸音板(7)15+PB(7)9.0下張り 【雨漏り部分のみ撤去】	L G S	塩ビ	2.700	電動ブラインド				
			(改修後)		【既存のまま】		【既存のまま】		【既存のまま】		ロックウール吸音板 t 15+GB-R t 9.0下張り 【雨漏り部分のみ張替え】										
	同上吹抜部分	(改修前)																			
		(改修後)								GB-R t 12.5 EP-G塗	L G S		GB-D張り t 9.5	L G S							
南棟	1	食生活改善室	(改修前)	[F1]	ノリツパ 長尺塩ビシート(7)2.5	モルタル金ごて下地	[HT]	ソフト巾木 H=75	[W2]	JB(7)12 (ジョイント部分寒冷紗ハテ抜き) 内装用吹付	L G S RC面GL工法	[C1]	ロックウール吸音板(7)9.0+PB(7)9.0下張り 【一部撤去】	L G S	塩ビ	2.700	家具【撤去・新設】				
			(改修後)		【既存のまま】		【既存のまま】		【既存のまま】		ロックウール吸音板(7)9.0+PB(7)9.0下張り 【一部張替え】										
●特記仕様								●認定番号 一覧													
(1) 建築基準法 第28条の2 「居室内における科学物質の発散に対する衛生上の措置（シックハウス対策）」 * 使用材料 図中特記無き限り、居室（換気経路として使用する室や天井裏を含む）に面する仕上材や家具、建具の仕上材は、全て、F☆☆☆☆又は規制対象外材料を使用する。 (2) 屋根改修、防水改修工事完了後、内装工事をおこなうこと。 (3) 屋根改修及びトップライト撤去中は、内部に雨漏りしないようにブルーシート等にて養生をおこなうこと。								ロックウール吸音板 不燃NM-8599 石膏ボード t 9.5(GB-R) 準不燃QM-9828 石膏ボード t 12.5、 t 9.5(GB-R) 不燃NM-8619 化粧石膏ボード t 9.5(GB-D) 準不燃QM-0752 化粧石膏ボード t 9.5(GB-D) 不燃NM-3703 けい酸カルシウム板 t 6.0 不燃NM-8578													

ARTICLE	※ A 2 → A 3 縮小 (71%)		担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE		A L 建築設計事務所株式会社 Archi tect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市中央部 1-5-1 三建ビル4F Tel./Fax:088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事許可 第1278号 管理棟 一級建築士(大臣)第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
						SUBJECT	仕上表(改修前・後)	SCALE			1/N	A — 04



2階平面図 S=1/200

RD-T(***) : ㄧ字形塩ビ製ドレン (縦樋サイズ) を示す。
RD-Y(***) : ヨ字形塩ビ製ドレン (縦樋サイズ) を示す。
※既存縦樋は、VP



1階平面図 S=1/200

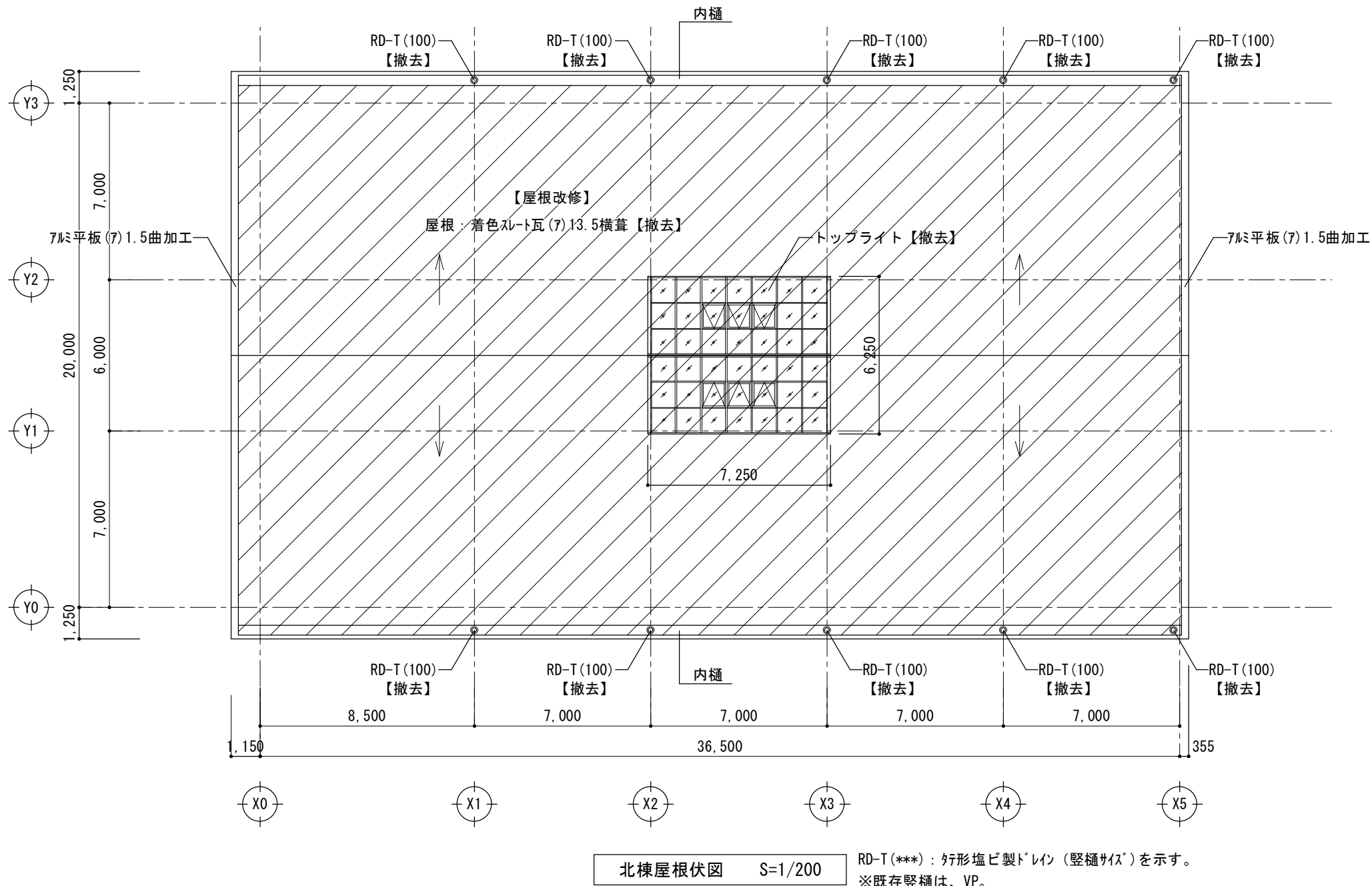
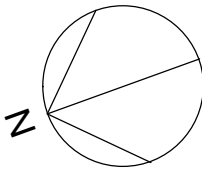
数字
ABC : 建具記号を示す

数字
: 家具記号を示す

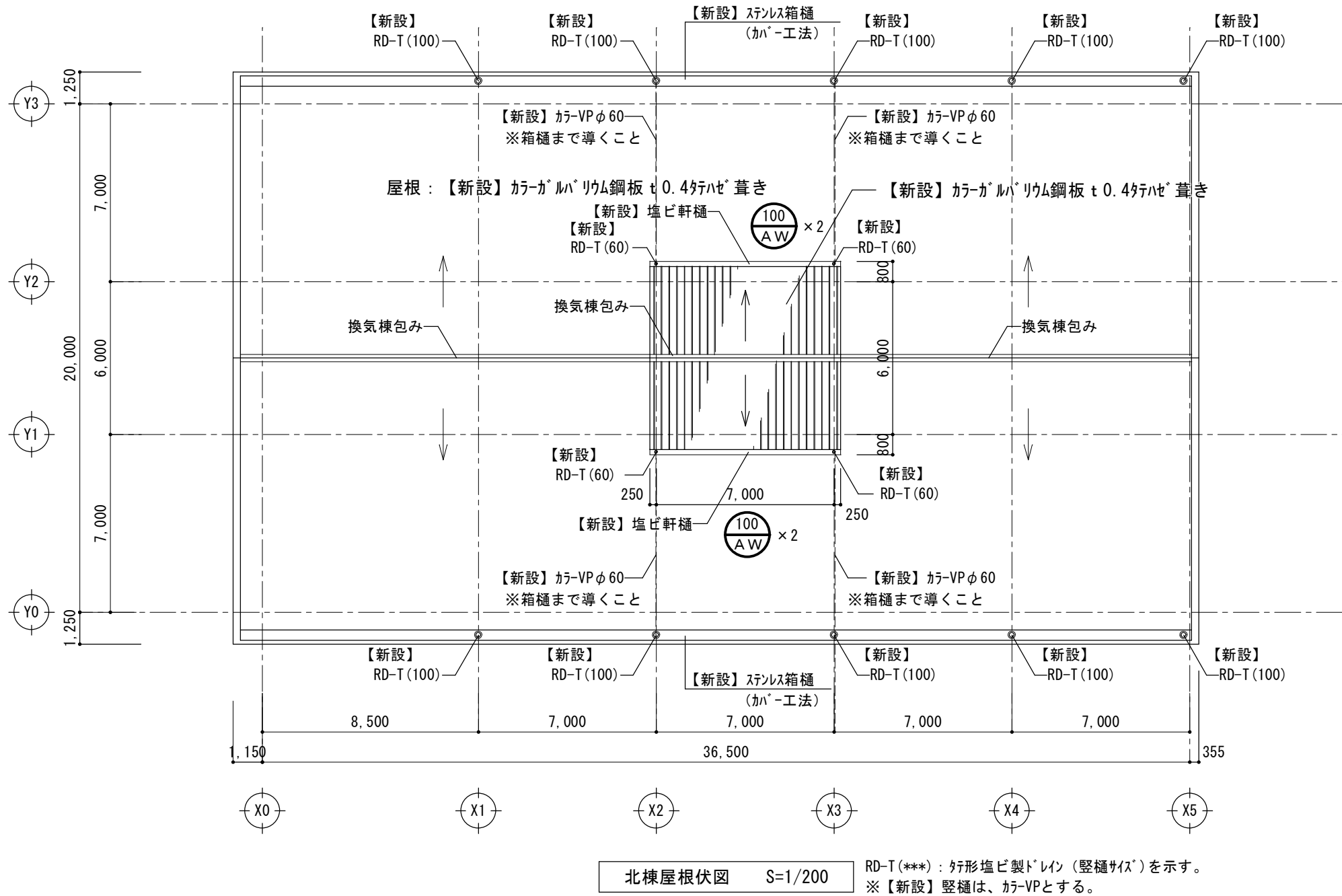
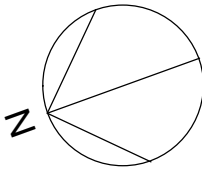
改修範囲を示す

ARTICLE	※ A 2ーA 3 縮小 (71%)		担当	係長	課長	PROJECT	南州市保健福祉センター屋根改修工事	DATE		A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市東高町1-5-1 三建ビル4F Tel/Fax: 088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事許可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
	※ 【 】 記載なき部分は、既存のままとする					SUBJECT	1・2階平面図、南棟 屋根伏図 (改修前・後)	SCALE	1/200			A — 05

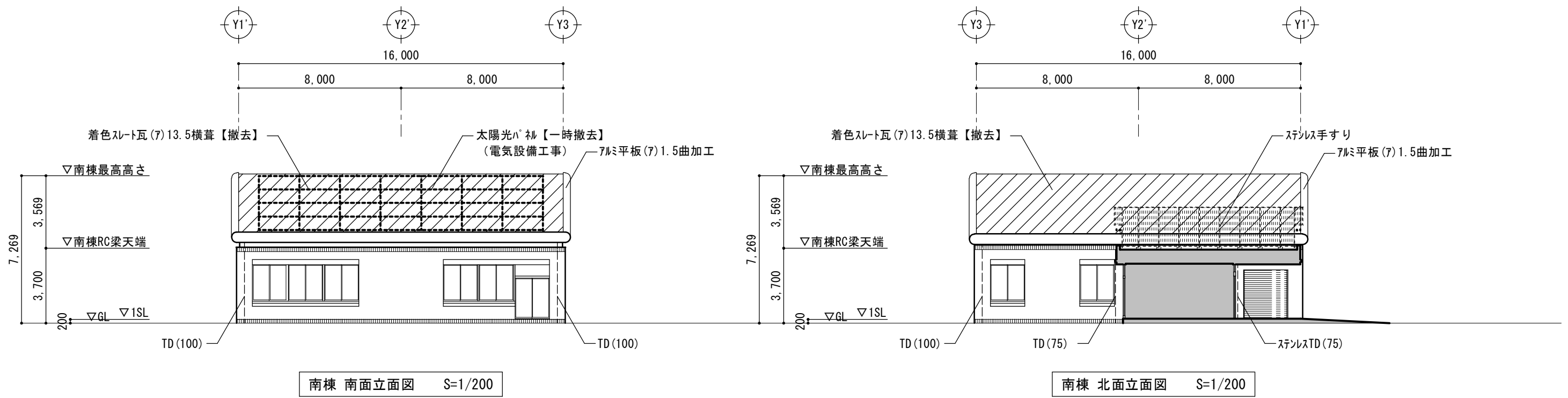
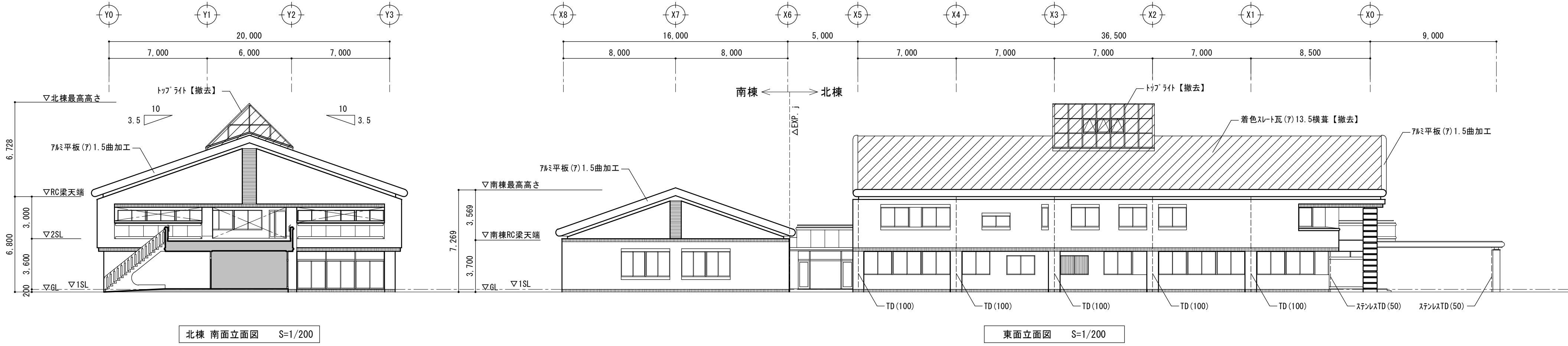
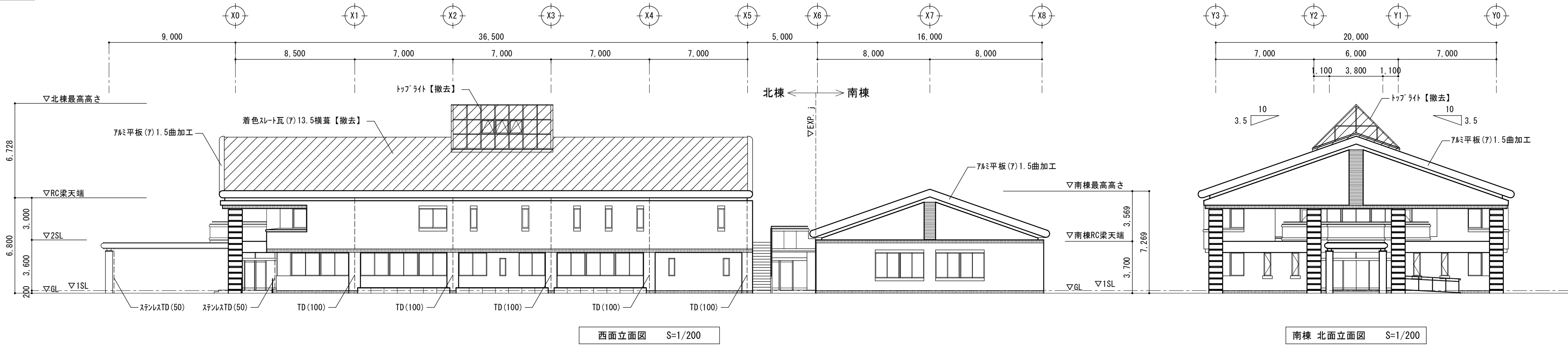
改修前



改修後



改修前

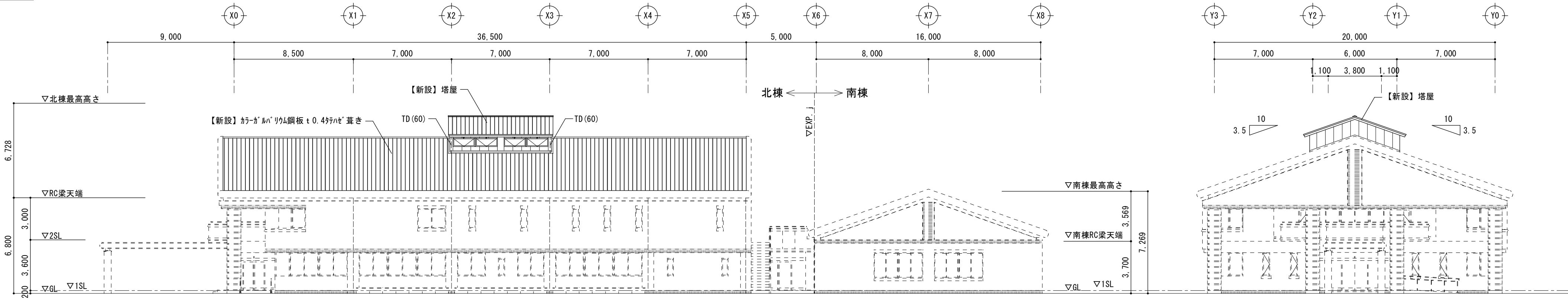


改修範囲を示す

TD(**): 縦樋VP (縦樋サイズ)を示す。

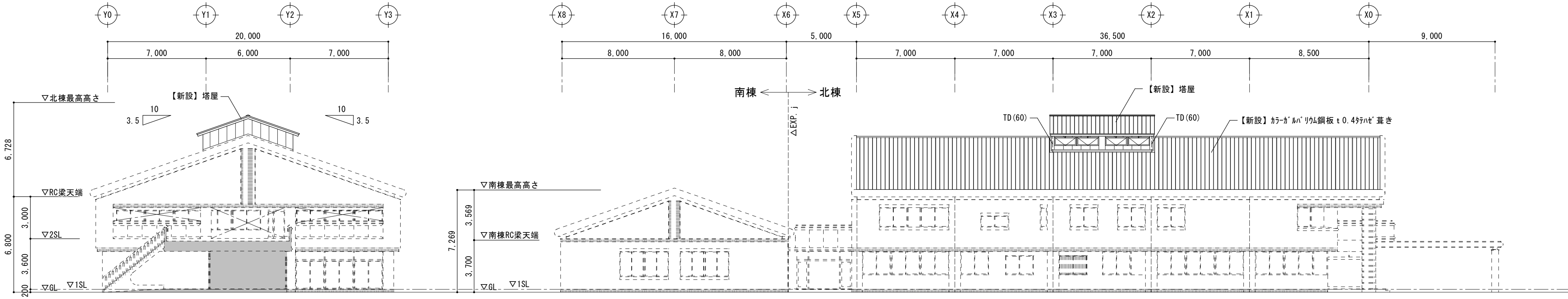
ARTICLE	※ A 2→A 3 縮小 (71%)		担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE		A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市丸の内1-5-1 三建ビル4F Tel./Fax: 088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事許可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大田) 第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
	※ 【 】 記載なき部分は、既存のままとする					SUBJECT	立面図 (改修前)	SCALE	1/200			
												A — 07

改修後



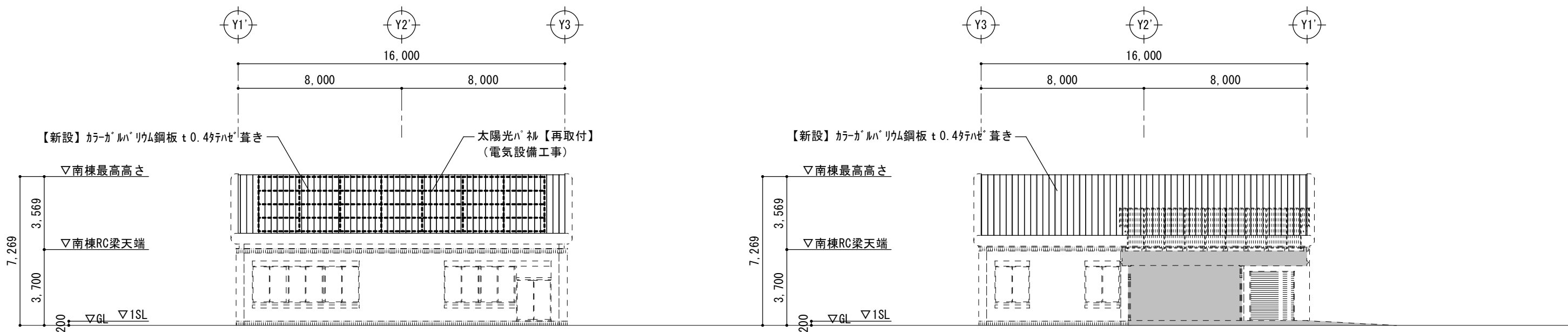
西面立面図 S=1/200

南棟 北面立面図 S=1/200



北棟 南面立面図 S=1/200

東面立面図 S=1/200

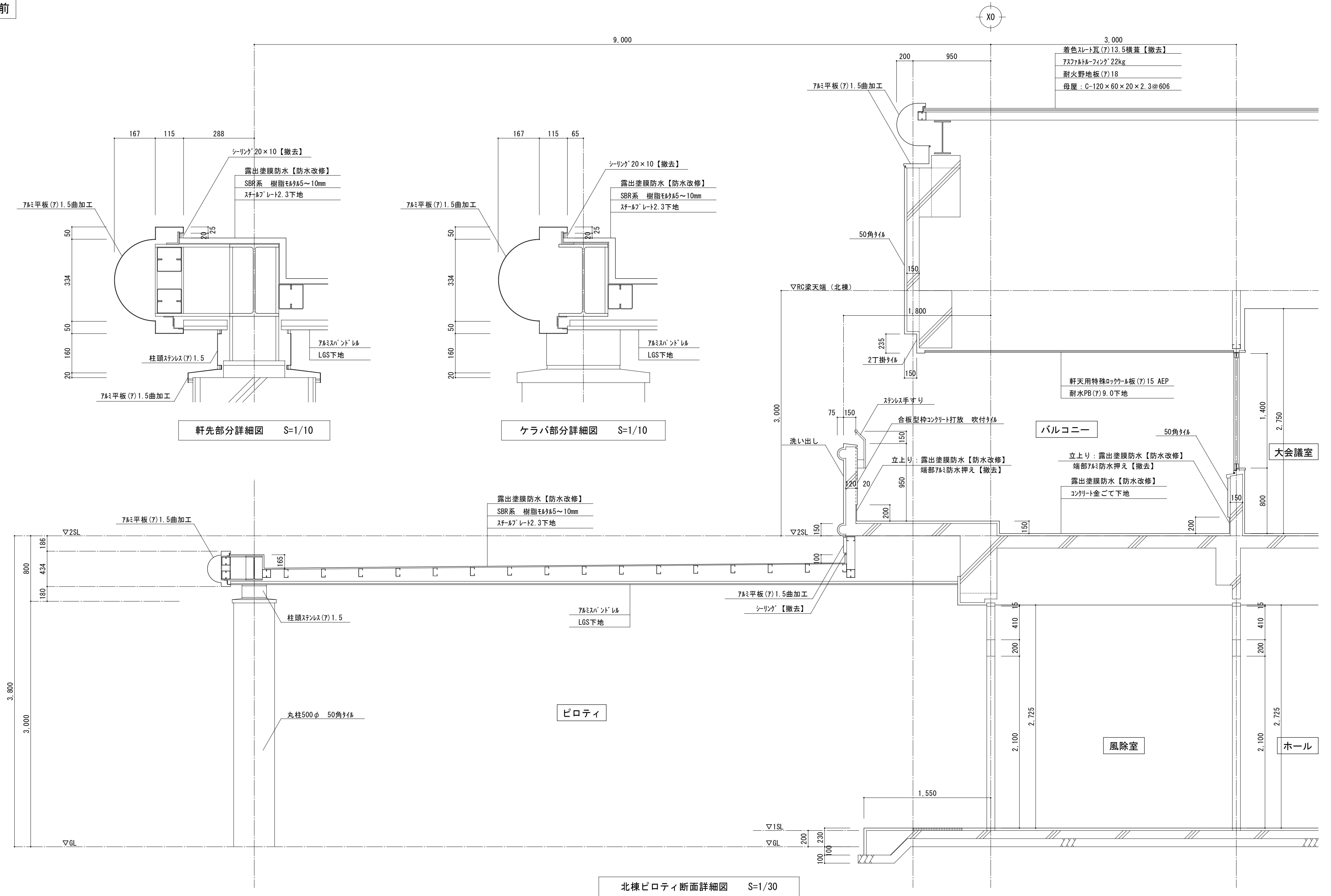


南棟 南面立面図 S=1/200

南棟 北面立面図 S=1/200

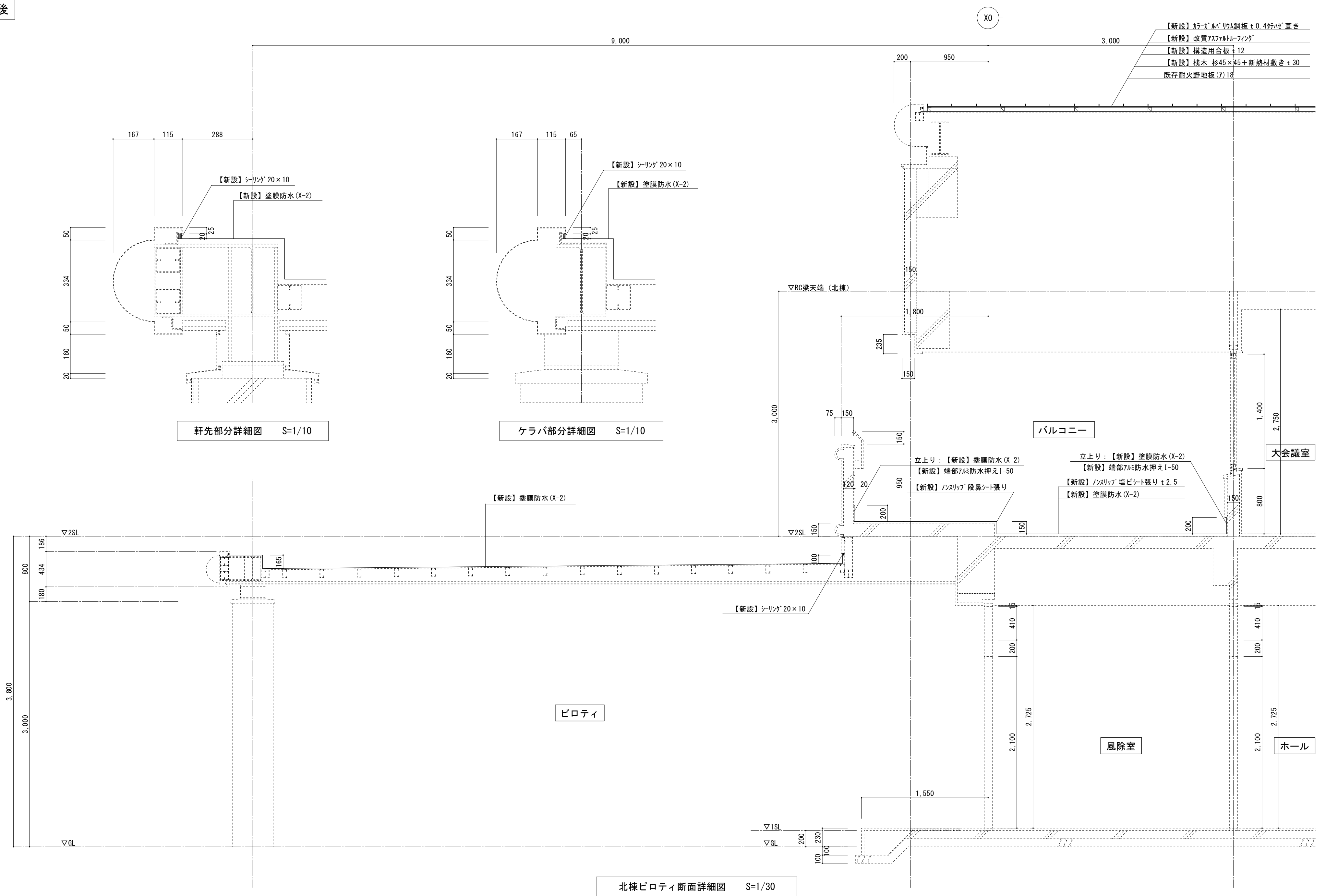
TD(***) : 縦樋VP (縦樋パイプ) を示す。

ARTICLE	※ A 2 → A 3 縮小 (71%)		担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE		A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市東町1-5-1 三建ビル4F Tel/Fax: 088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事認可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
						SUBJECT	立面図 (改修後)	SCALE	1/200			A — 08

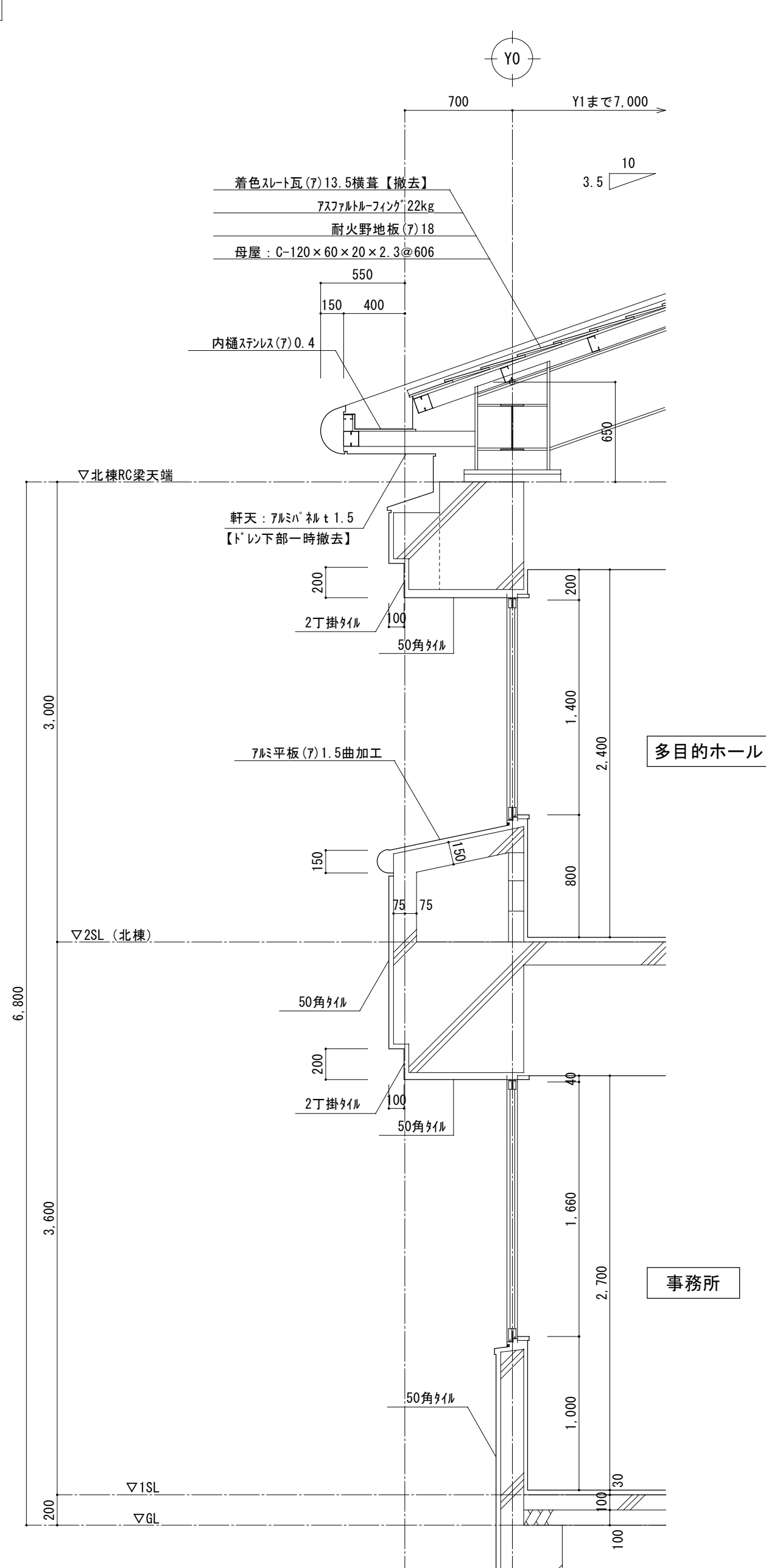


ARTICLE	※ A 2 → A 3 縮小 (71%)	担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE	A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd.	高知市知内1-5-1 三建ビル4F Tel/Fax:088-881-1676	DRAW	PAGE NO.
	※【 】記載なき部分は、既存のままとする				SUBJECT	北棟ロビティ 断面詳細図 (改修前)	SCALE			1/10、1/30	A — 09

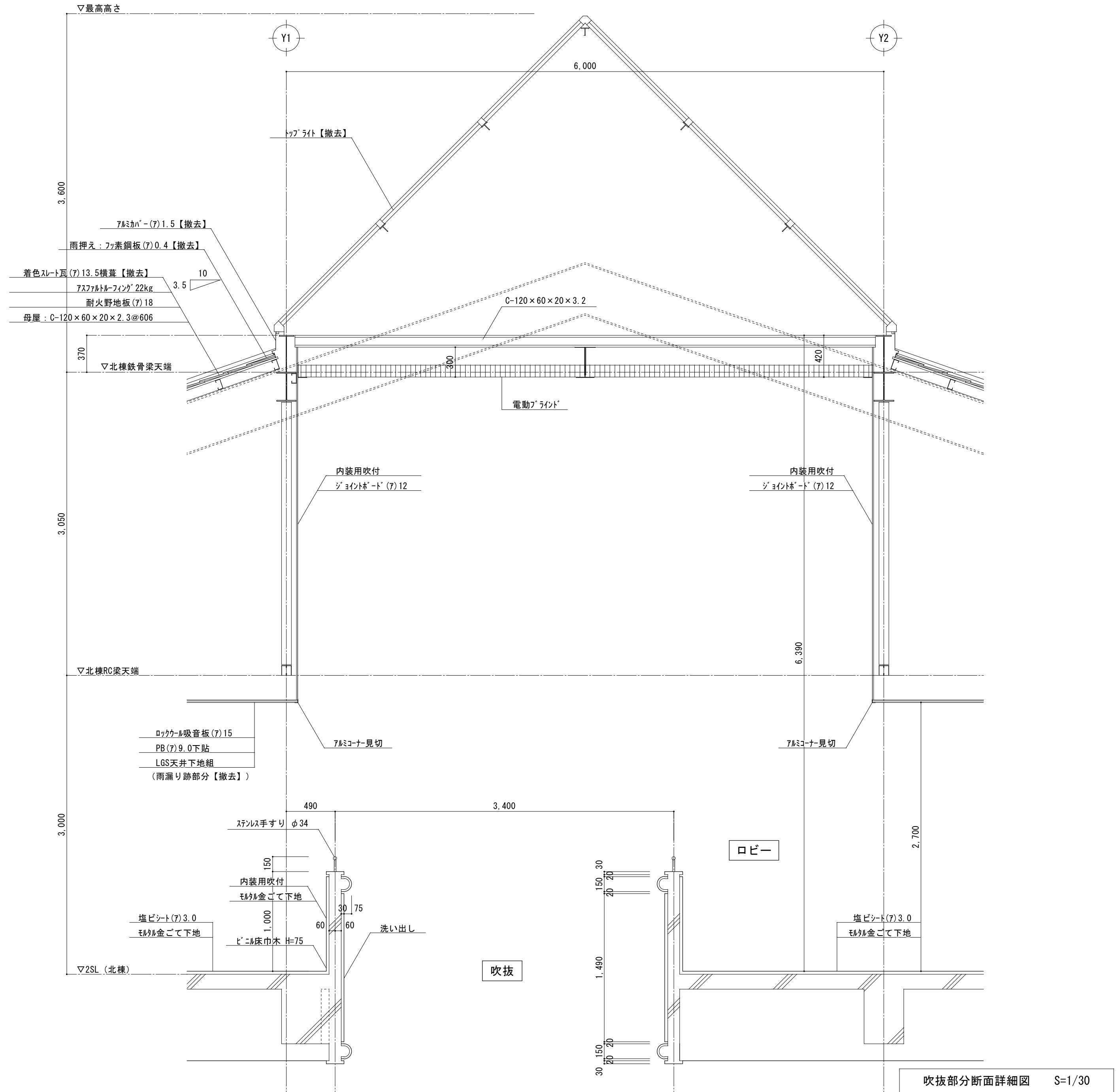
改修後



ARTICLE	※A 2→A 3 縮小 (71%)			担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE		A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市城南町1-5-1 三建ビル4F Tel/Fax:088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事許可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大田) 第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
							SUBJECT	北棟ロビティ 断面詳細図 (改修後)	SCALE	1/10、1/30		A — 10	

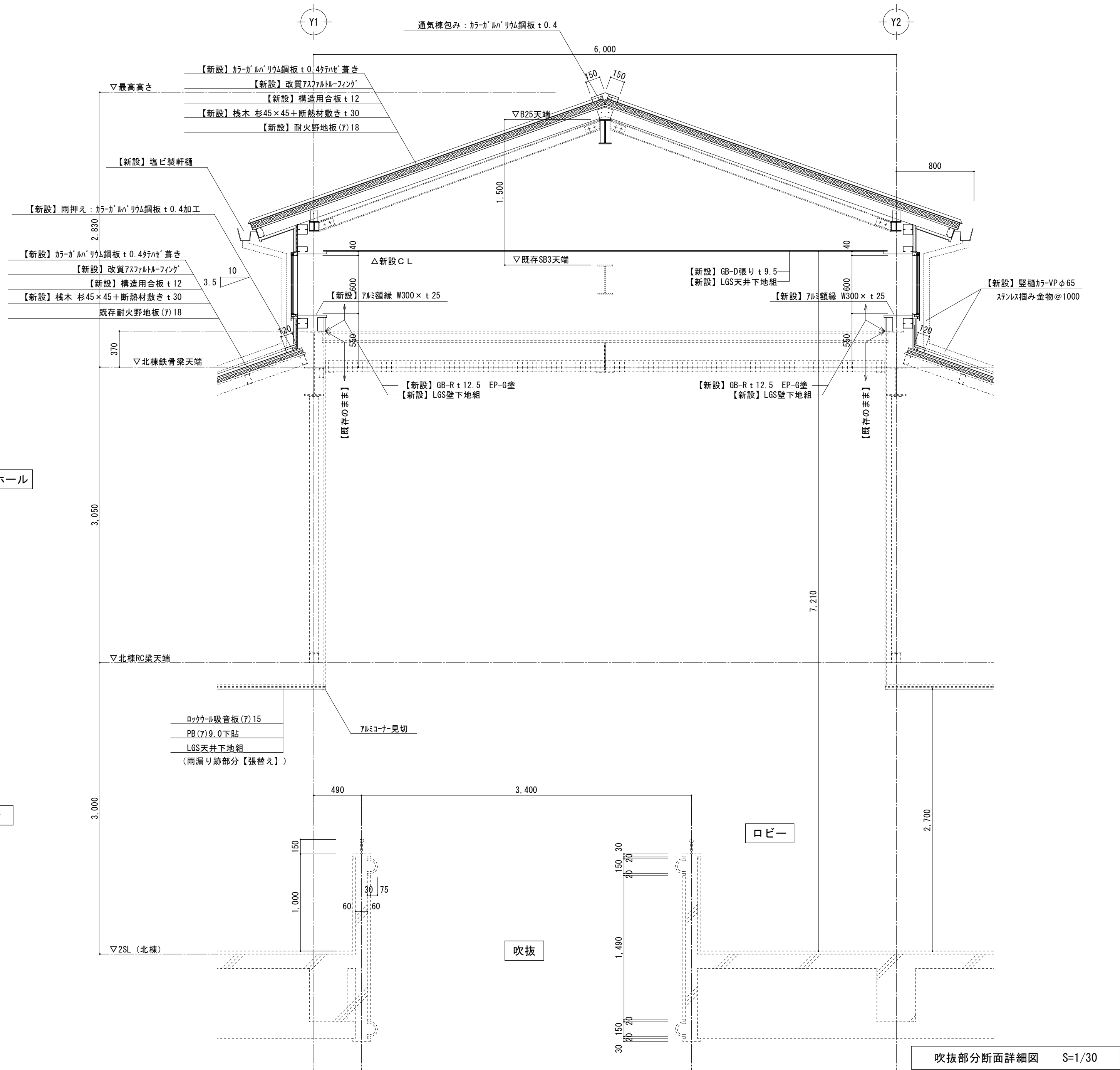
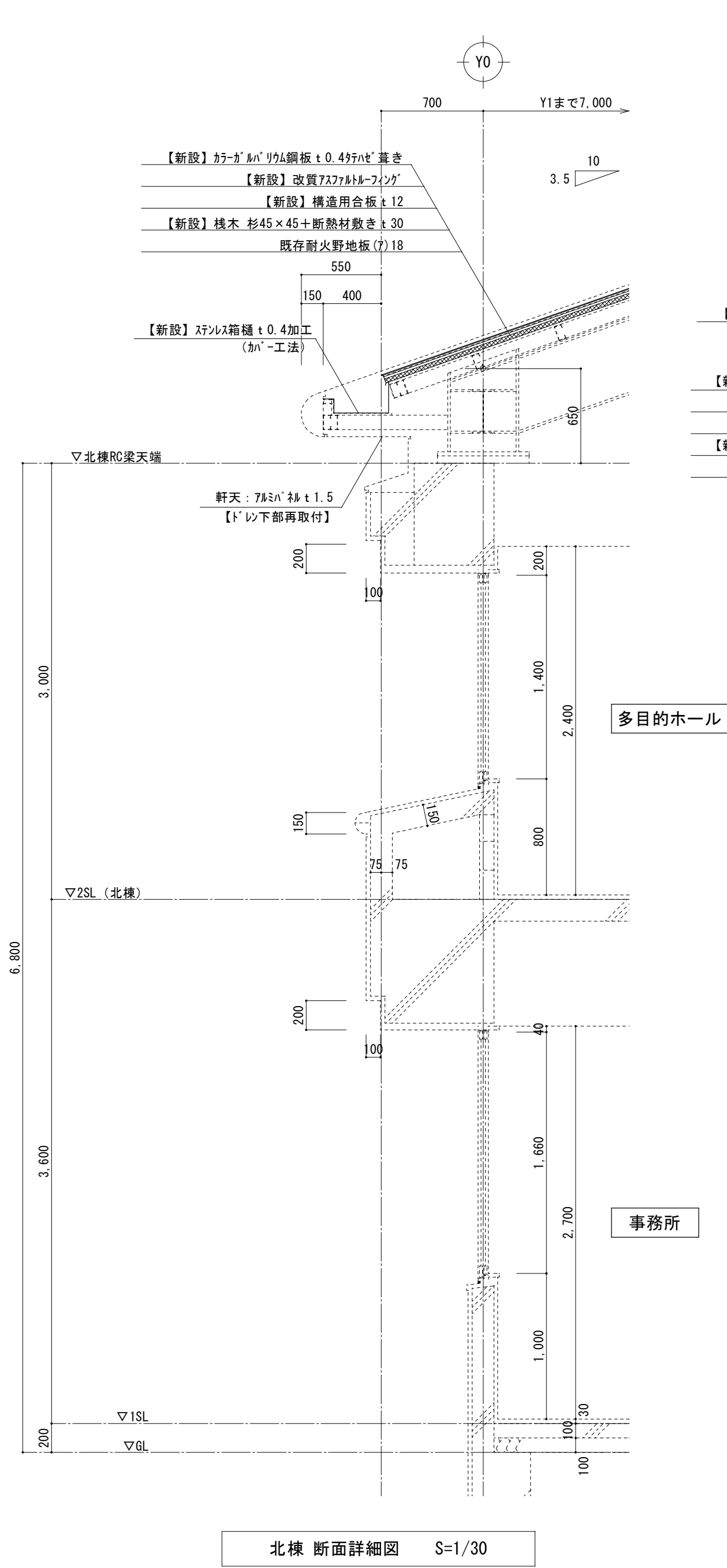


北棟 断面詳細図 S=1/30

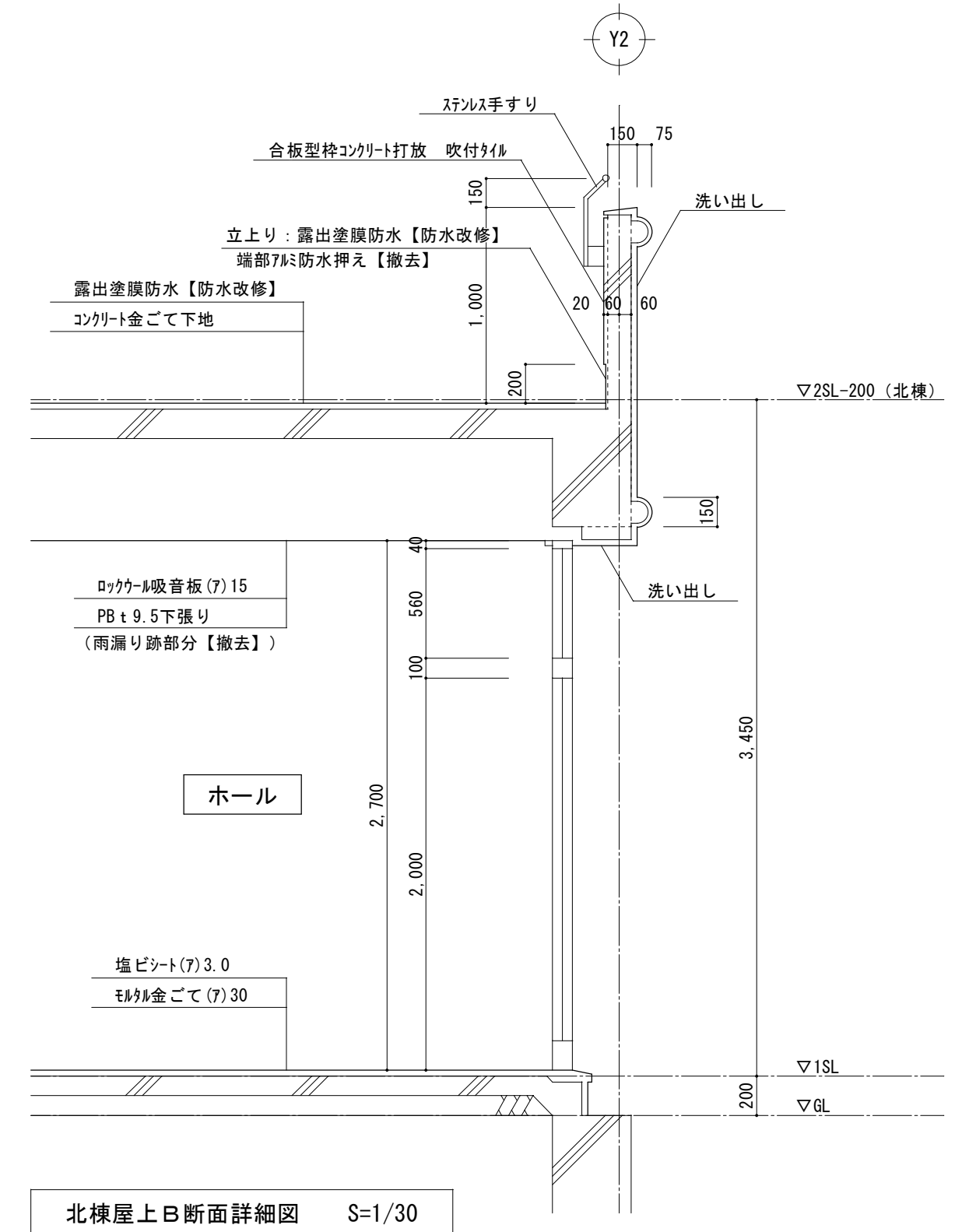
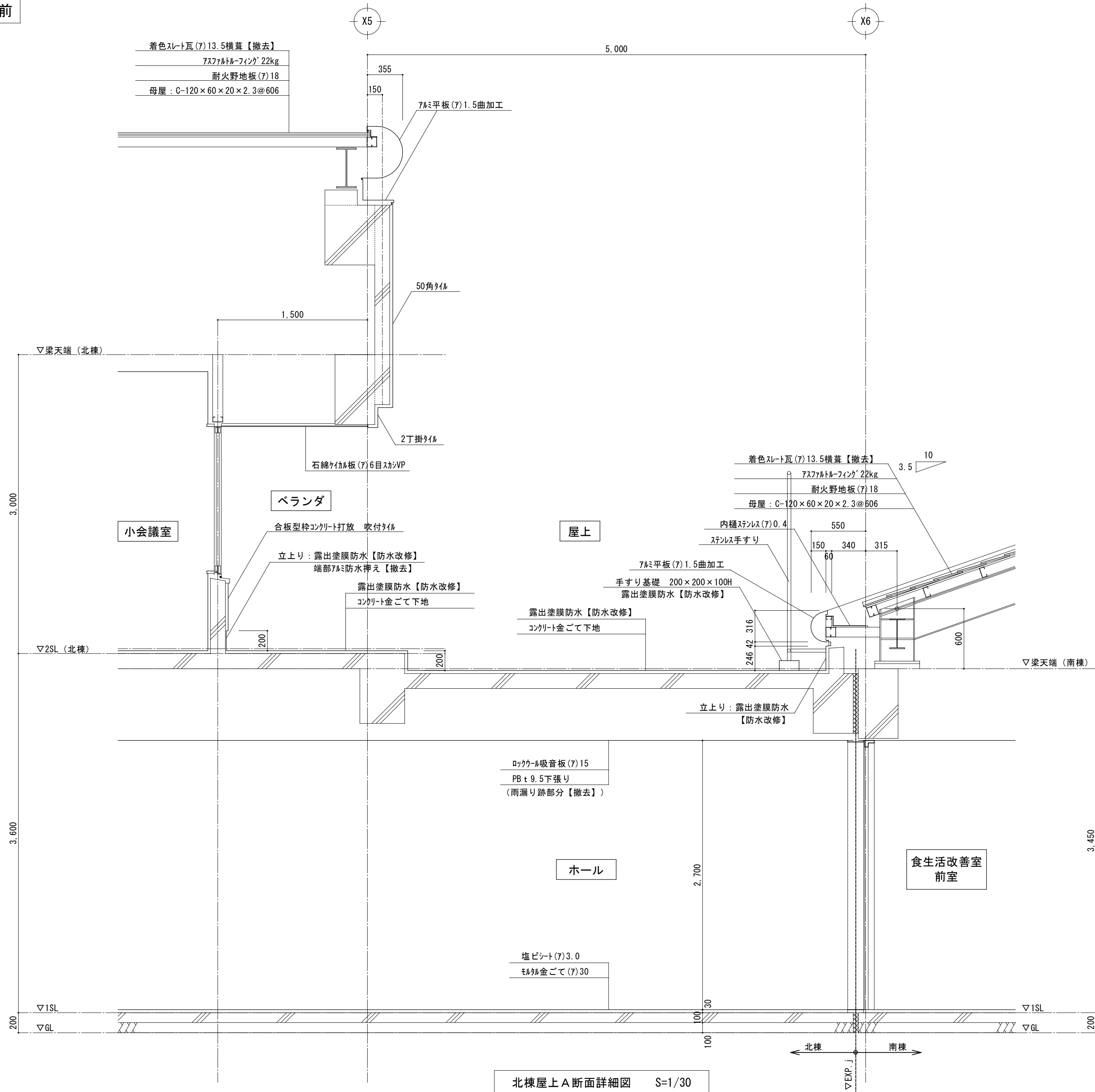


吹抜部分断面詳細図 S=1/30

ARTICLE	※ A 2 → A 3 縮小 (71%)	担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE	A L 建築設計事務所株式会社 Archi tect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市城南町1-5-1 三建ビル4F Tel/Fax: 088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事許可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
	※ 【 】 記載なき部分は、既存のままとする				SUBJECT	北棟 断面詳細図-2 (改修前)	SCALE		1/30	A — 11

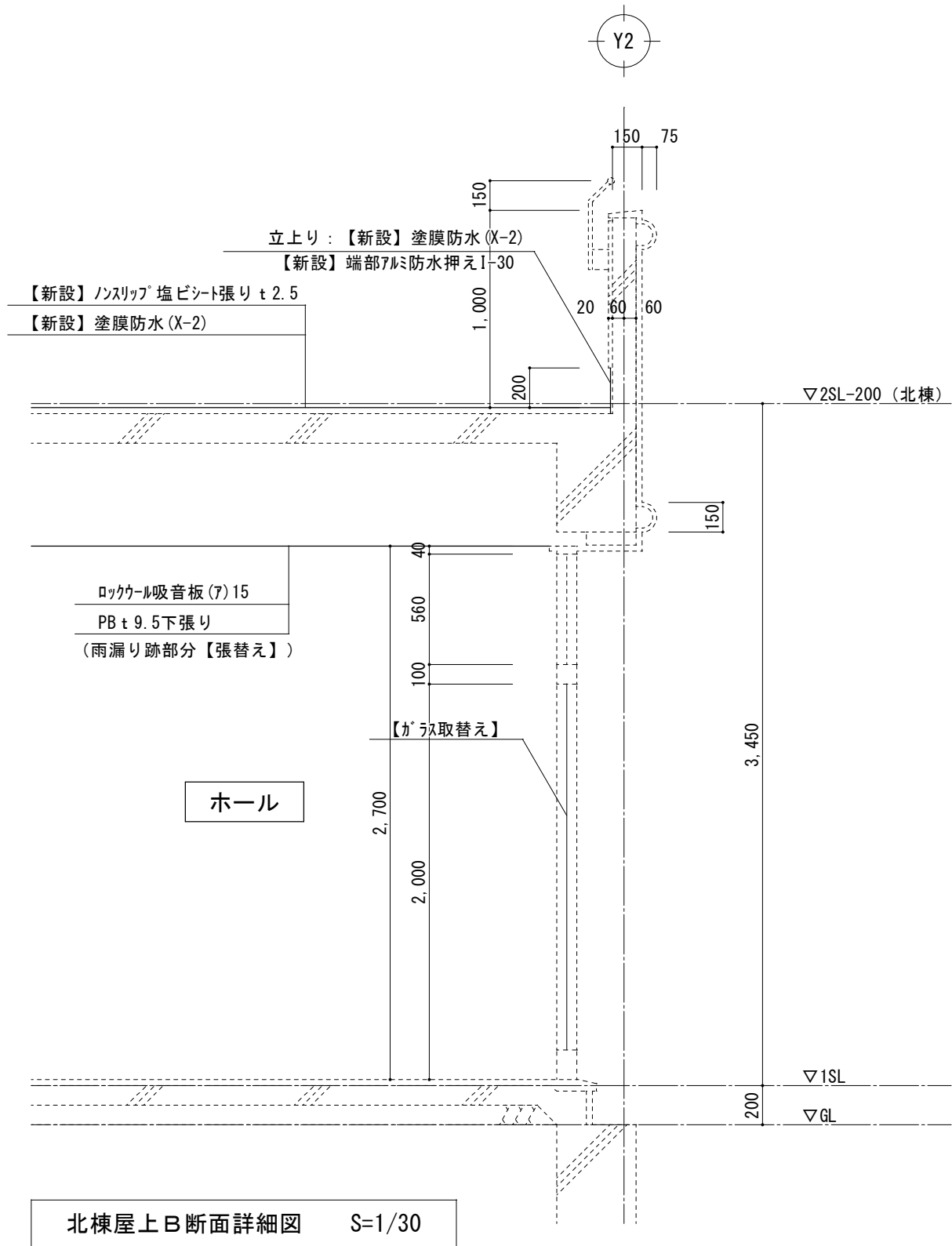
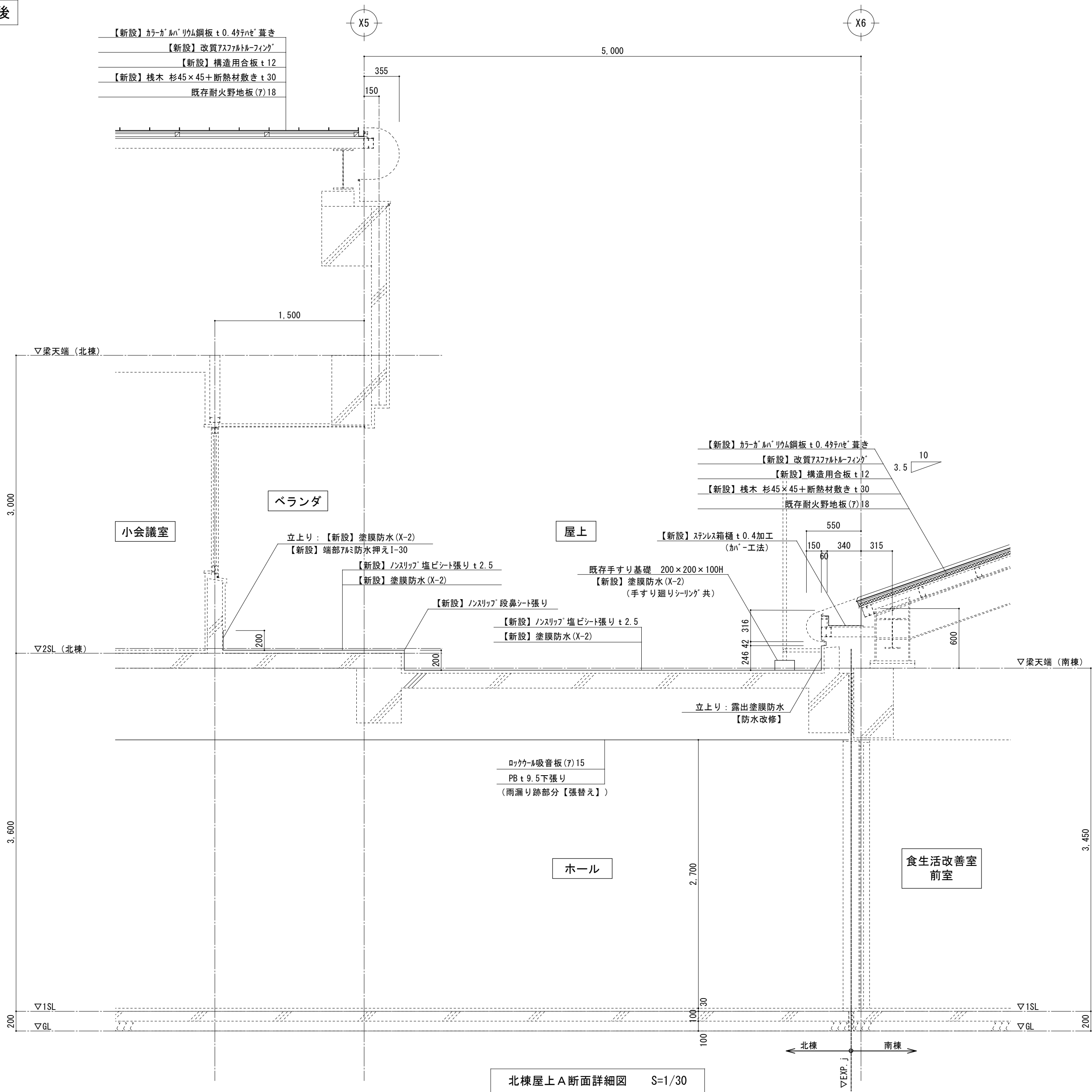


改修前

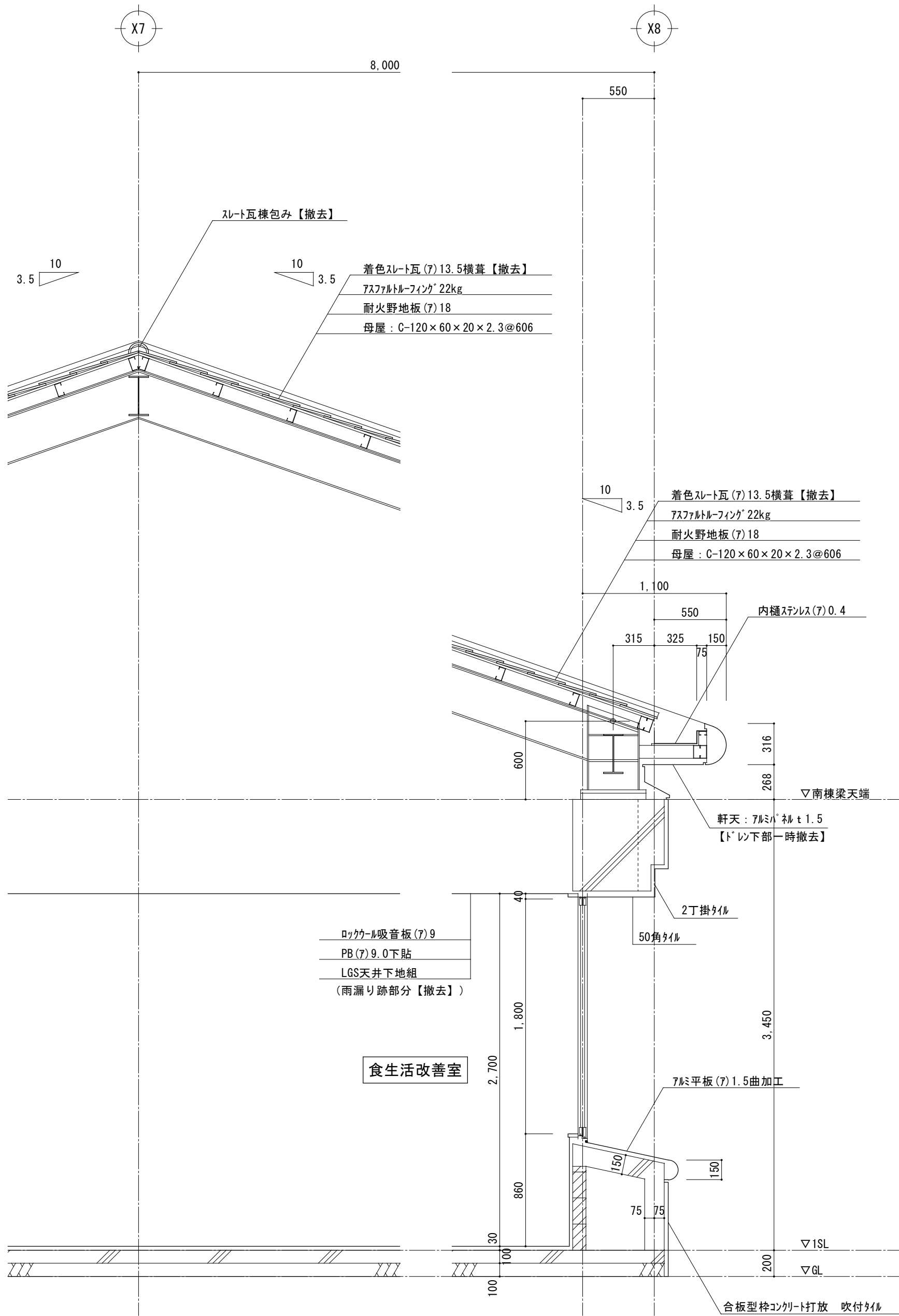


ARTICLE	※ A 2 → A 3 縮小 (71%)		担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE	A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市知寄町1-5-1 三建ビル4F Tel./Fax:088-881-1676	DRAW	PAGE NO.	
	※【 】記載なき部分は、既存のままとする					SUBJECT	北棟屋上 断面詳細図(改修前)	SCALE		1/30	一級建築士事務所 高知県知事許可 第1278号 管理建築士 一級建築士 大臣 第327025号 辻本 一英	A — 13

改修後

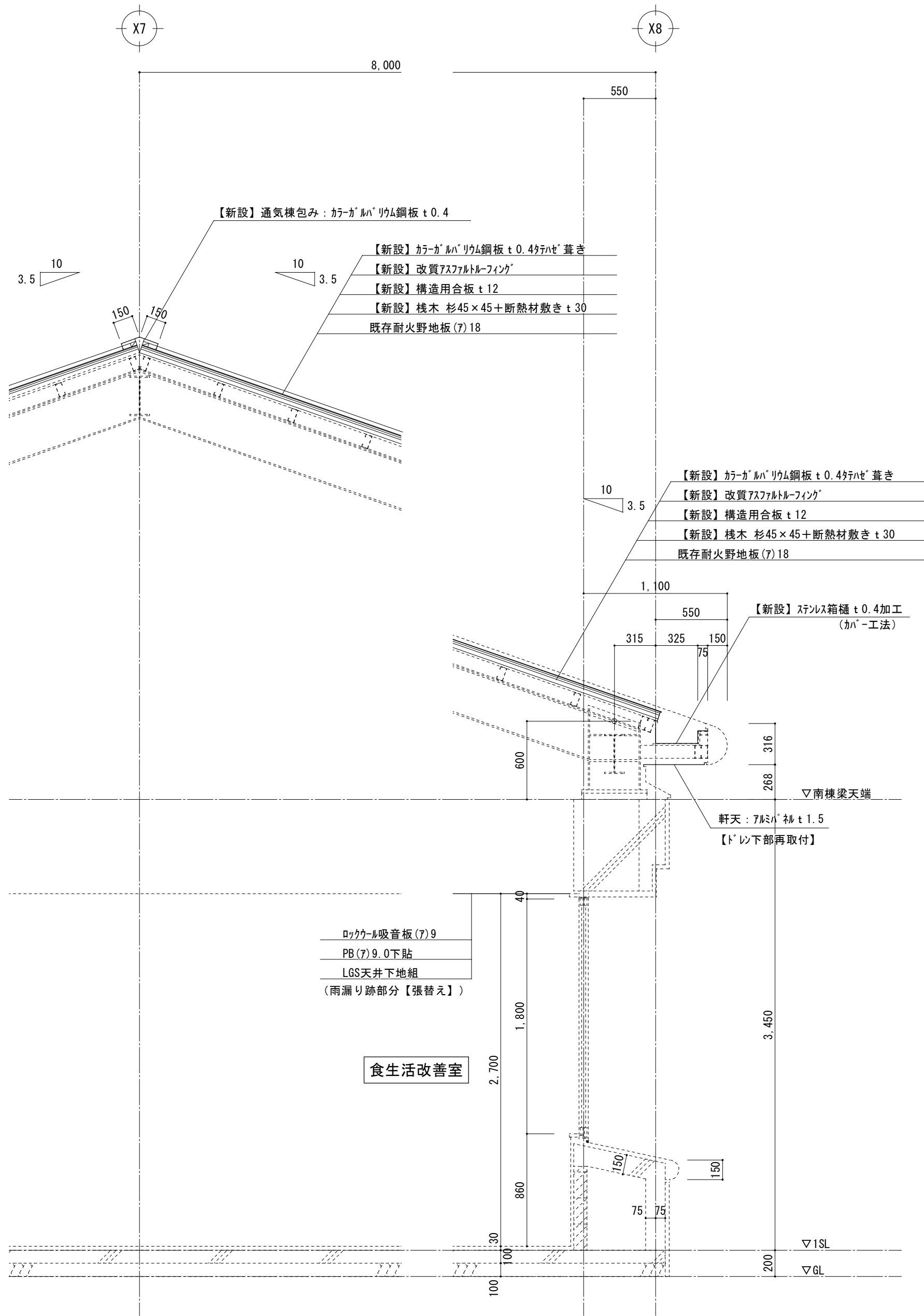


改修前



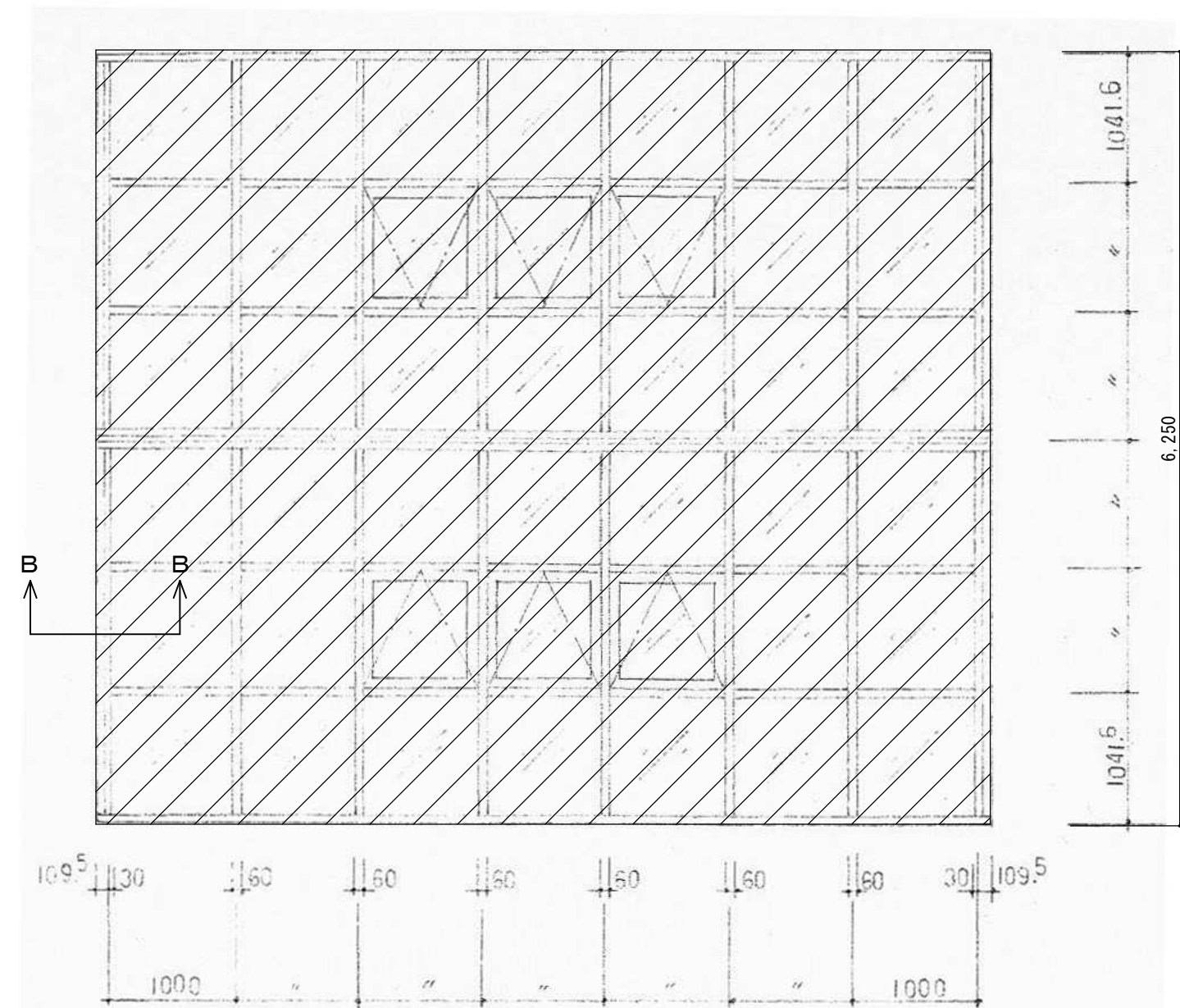
南棟 断面詳細図 S=1/30

改修後

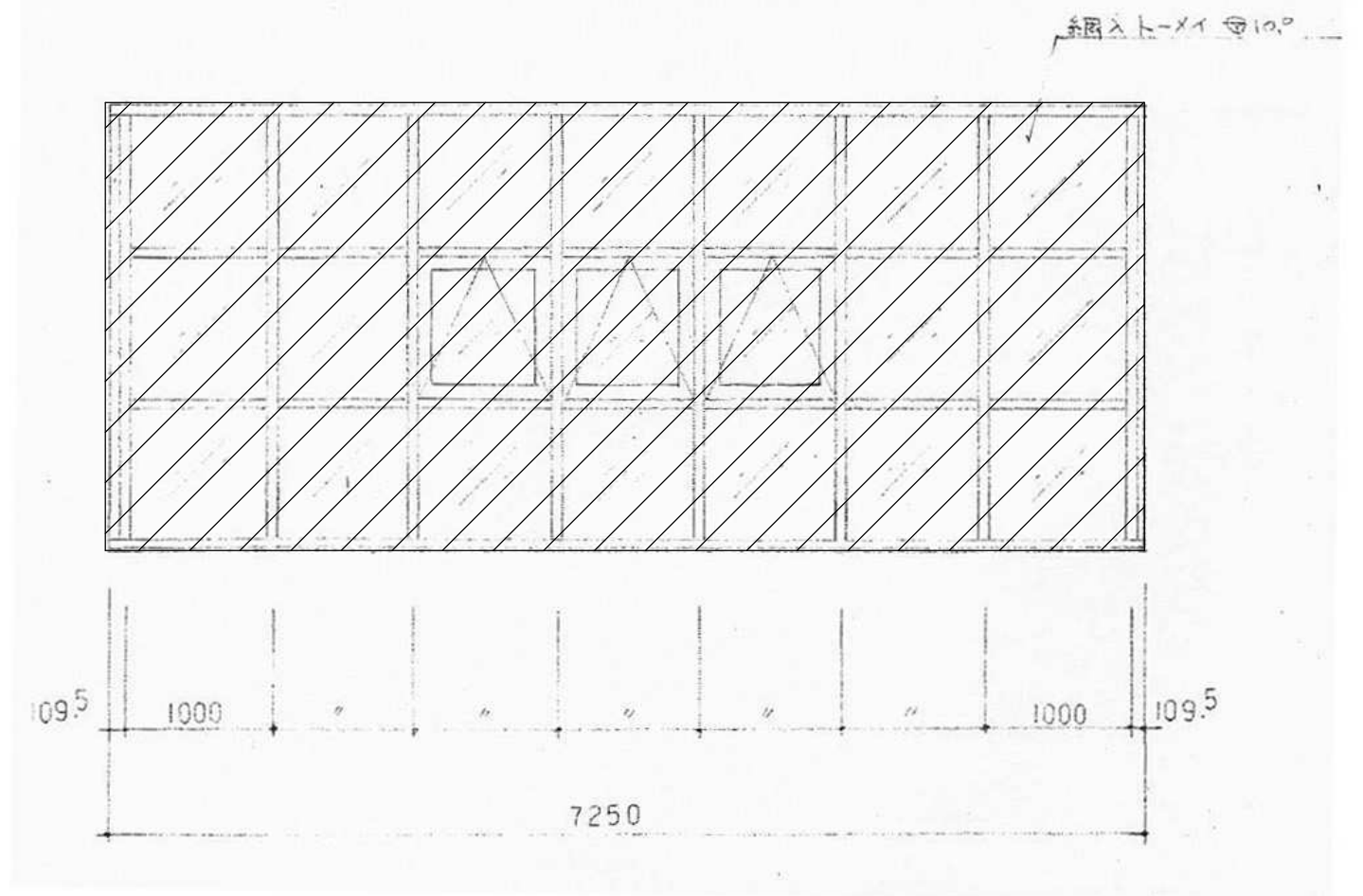


南棟 断面詳細図 S=1/30

ARTICLE	※A2→A3縮小(71%)		担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE		A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市坂町1-5-1 三建ビル4F Tel/Fax:088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事許可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大臣)第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
	※【 】記載なき部分は、既存のままとする					SUBJECT	南棟 断面詳細図(改修前・後)	SCALE	1/30			A - 15

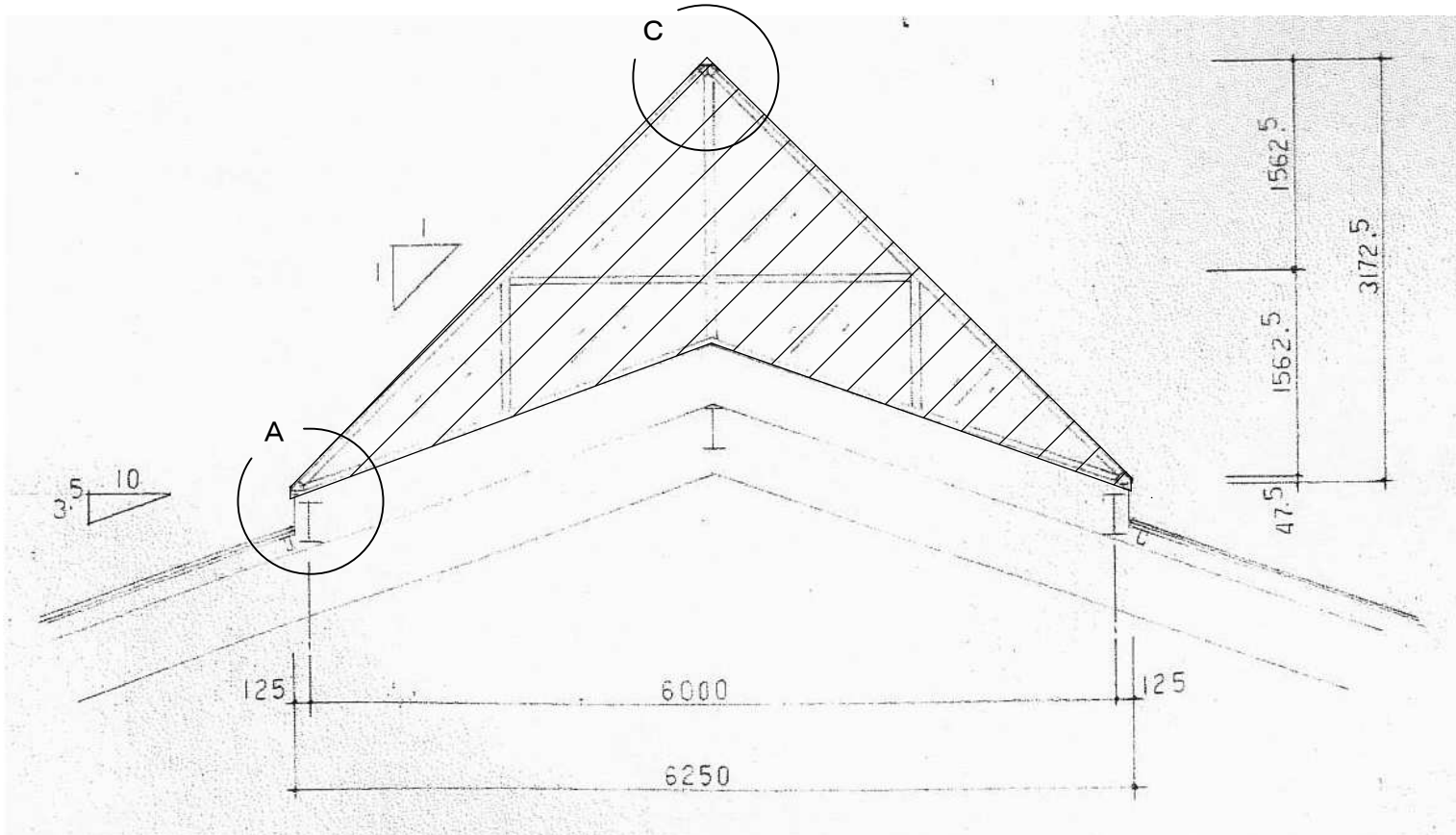


既存トプライト平面図

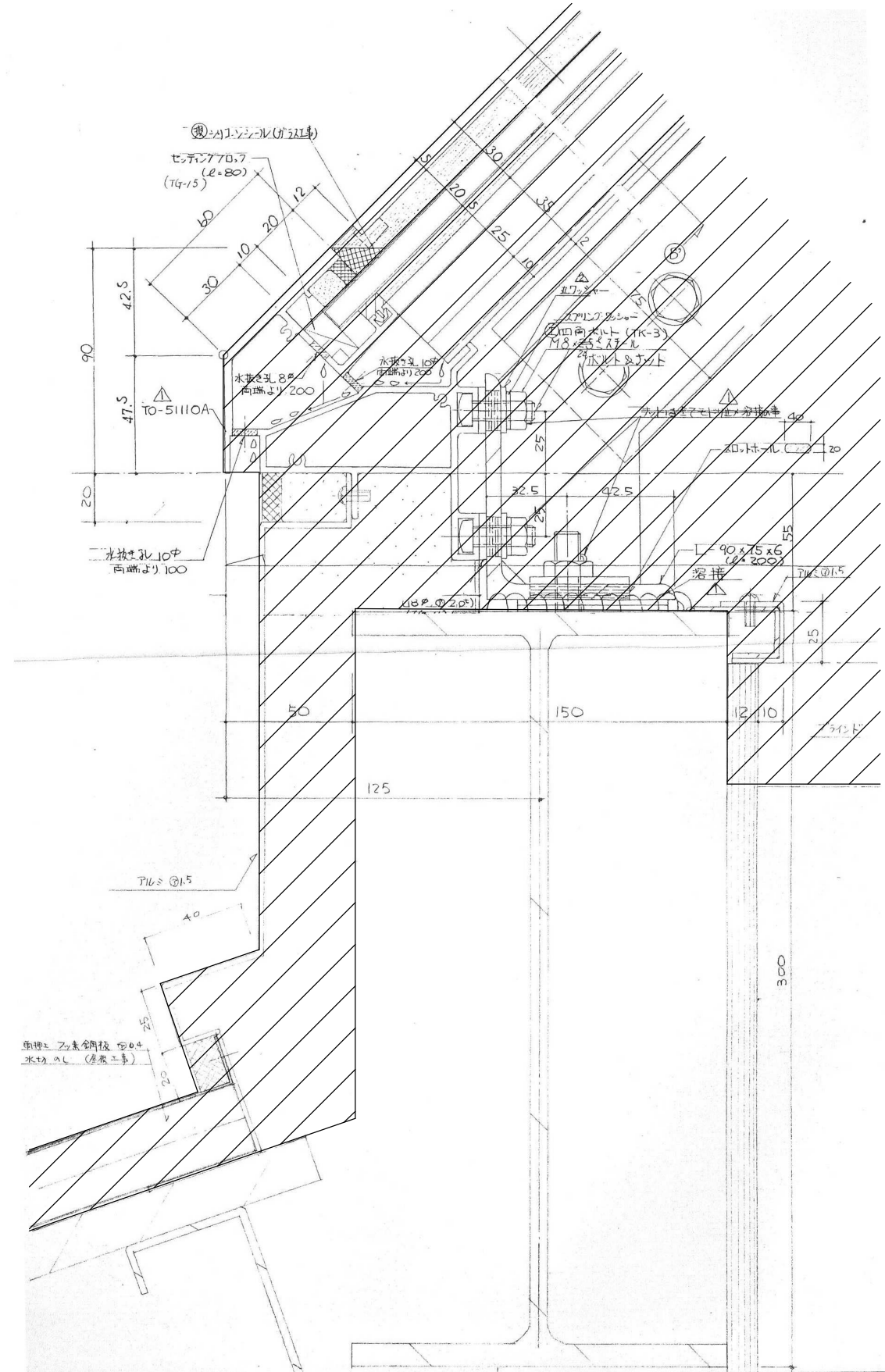


既存トプライト正面図

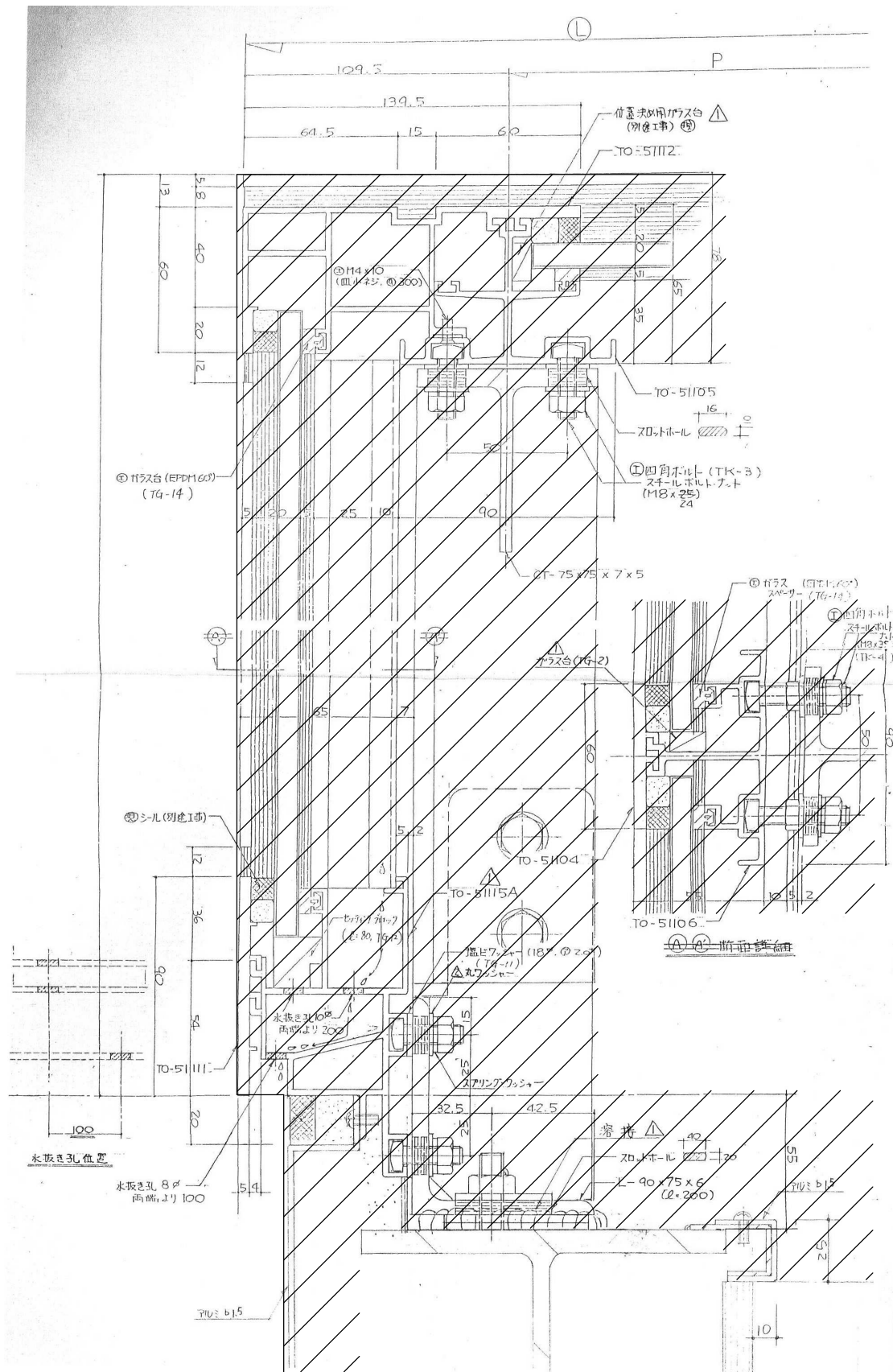
：【撤去】範囲を示す



既存トプライト側面図

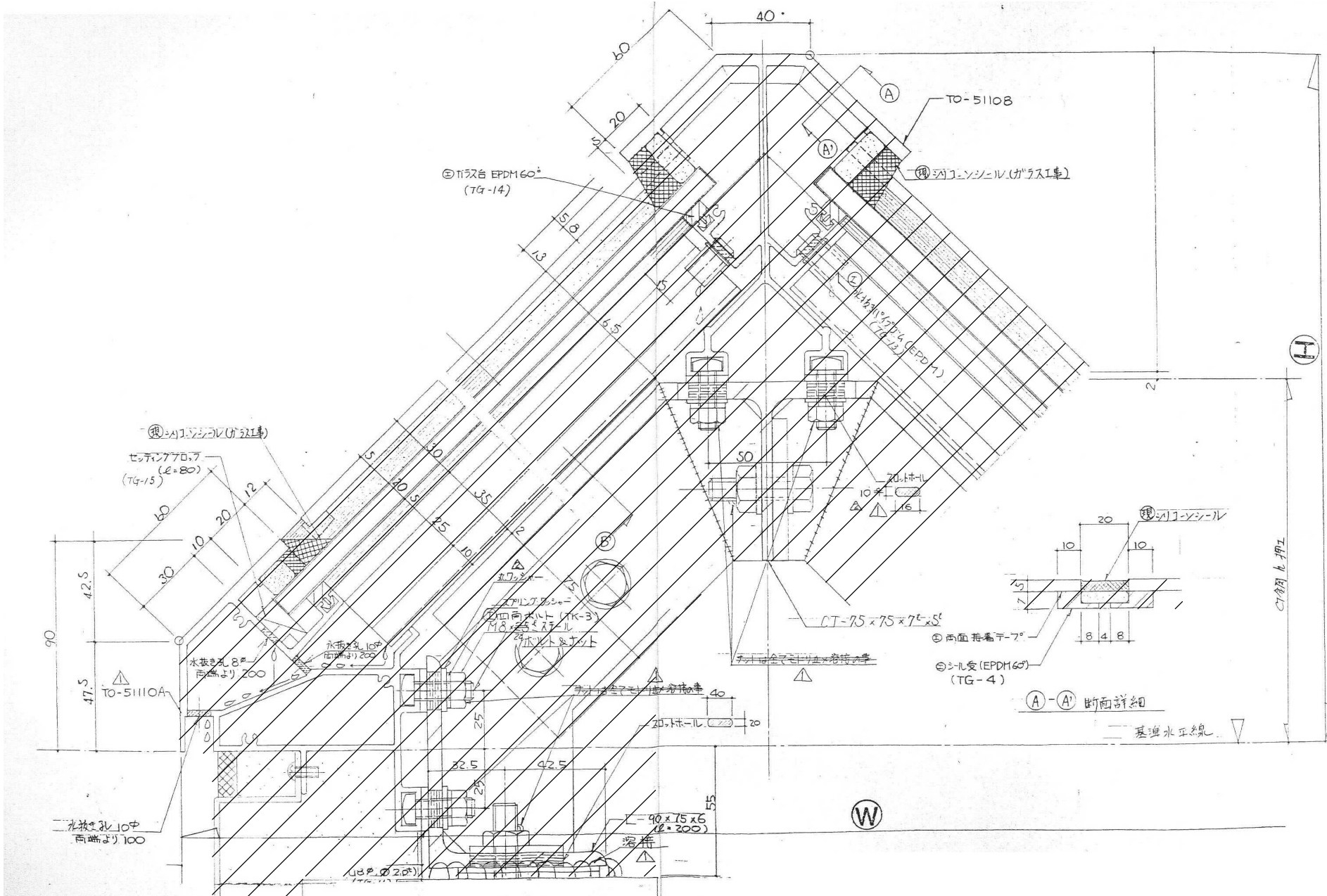


A部分詳細図

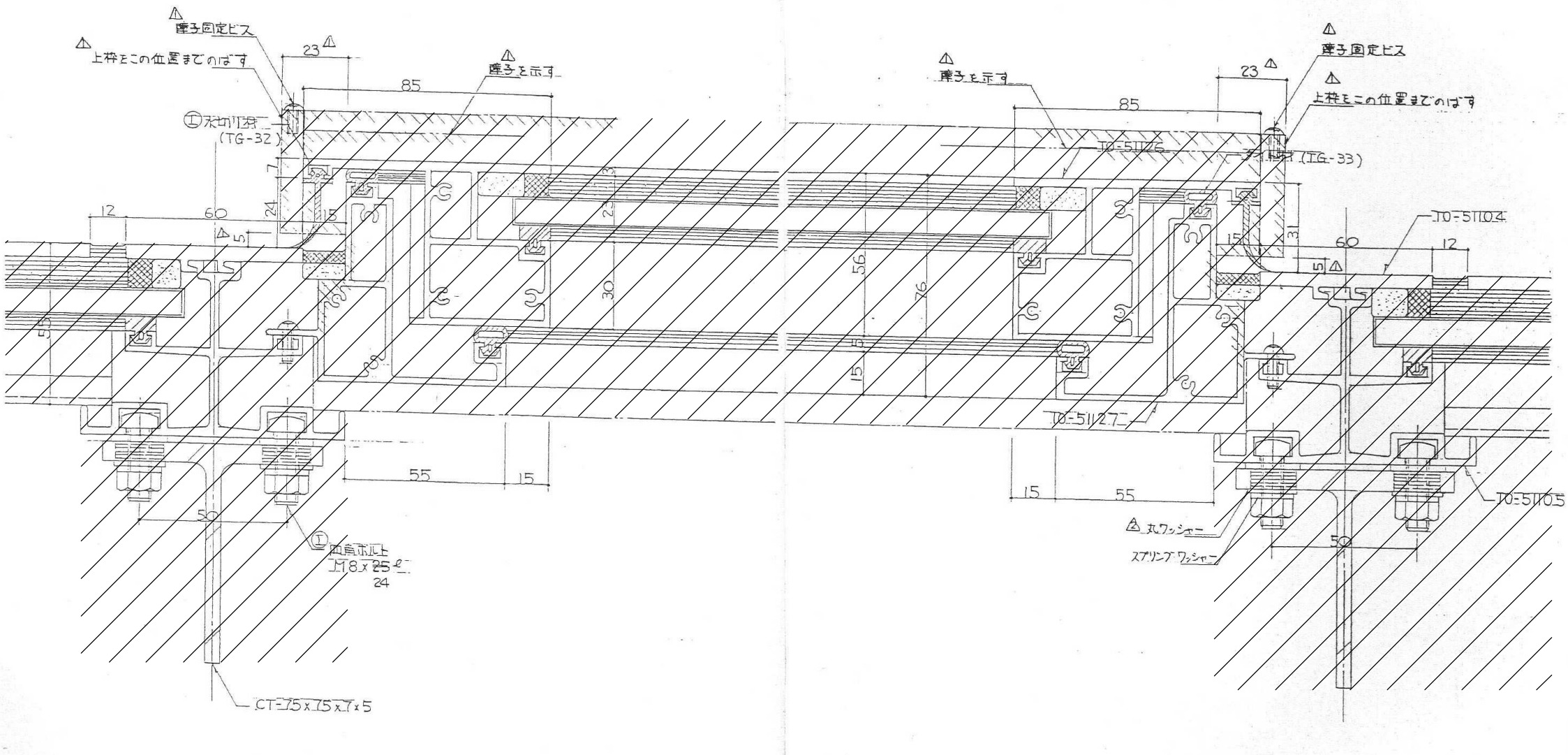


B-B部分詳細図

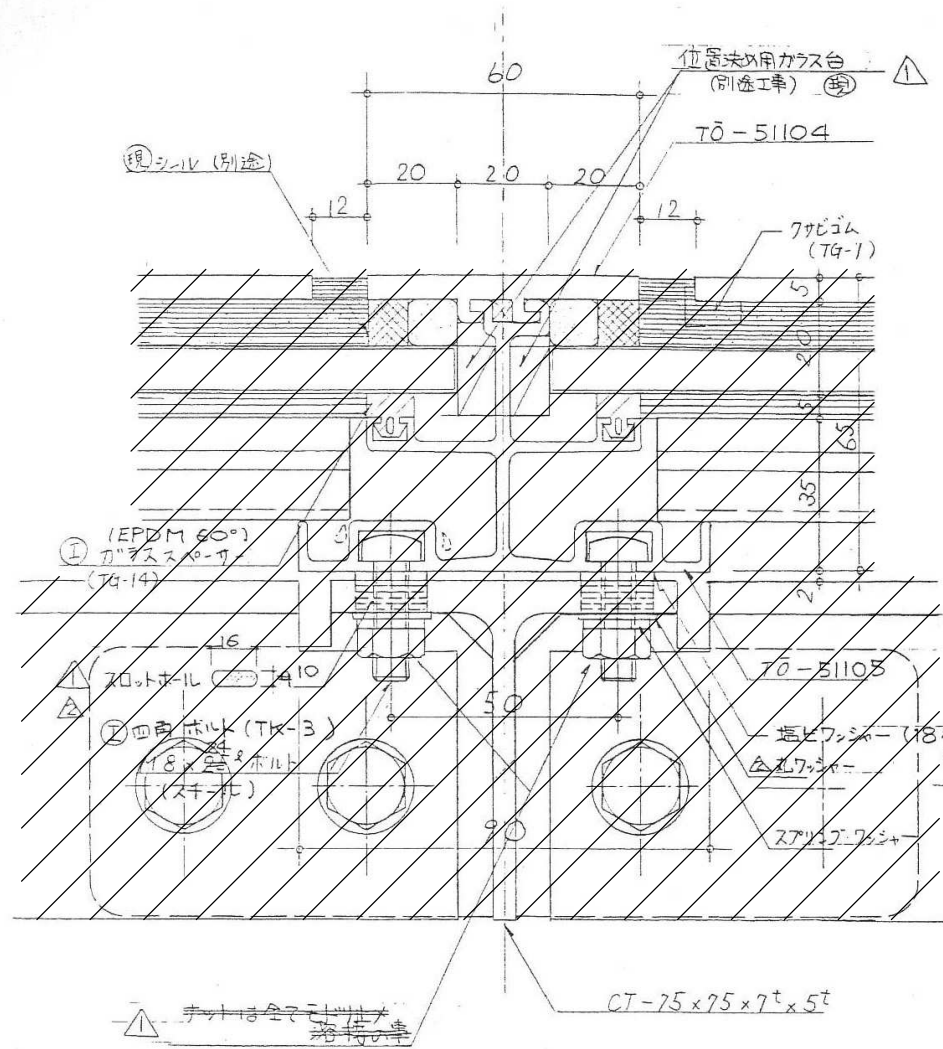
ARTICLE	※A2→A3縮小（71%）		担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE	A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd.	SCALE	1/N	DRAW	PAGE NO. A — 16
						SUBJECT	既存トプライト撤去図-1						



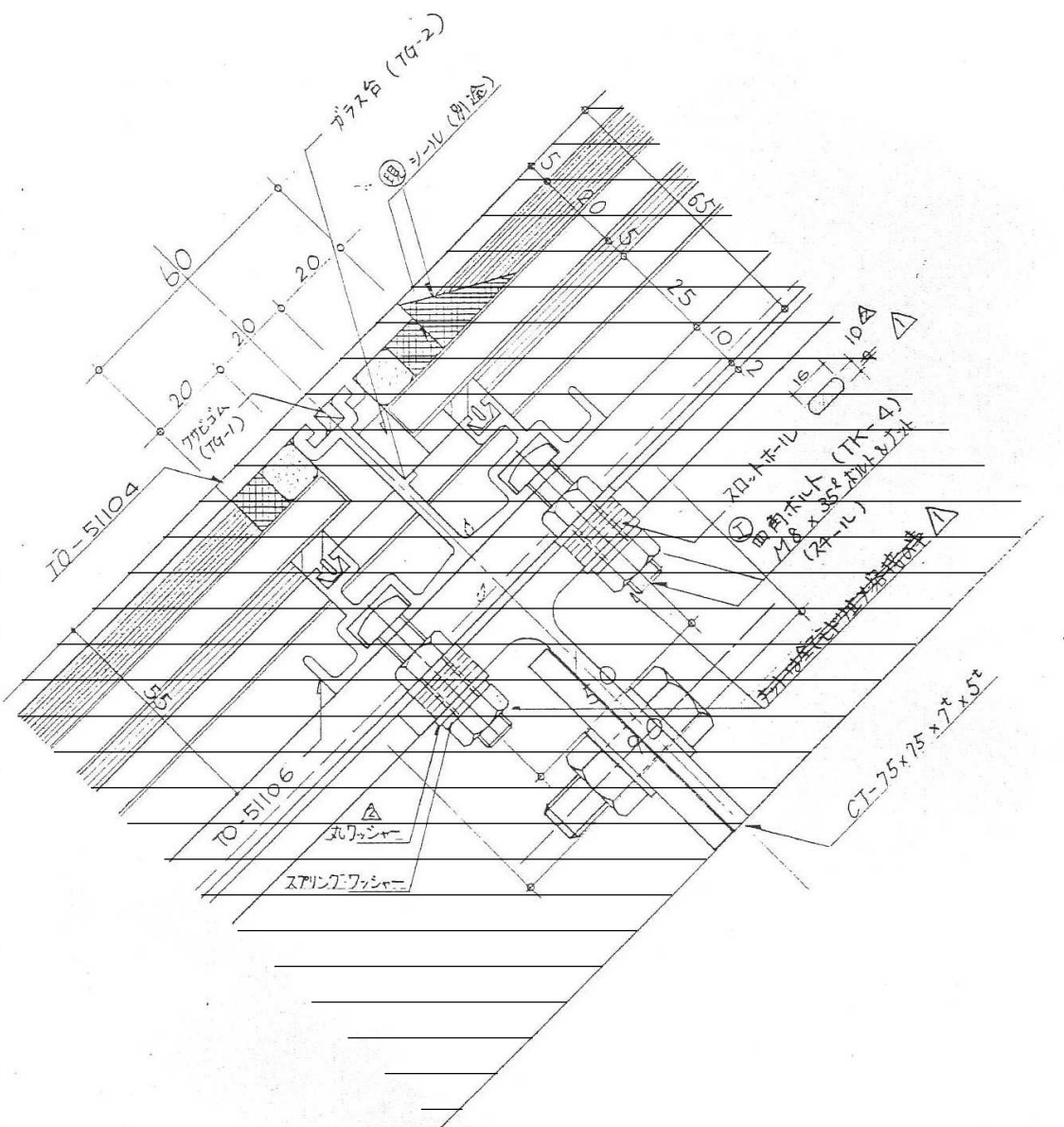
A、C部分詳細図



排煙窓部詳細図



基準壁骨

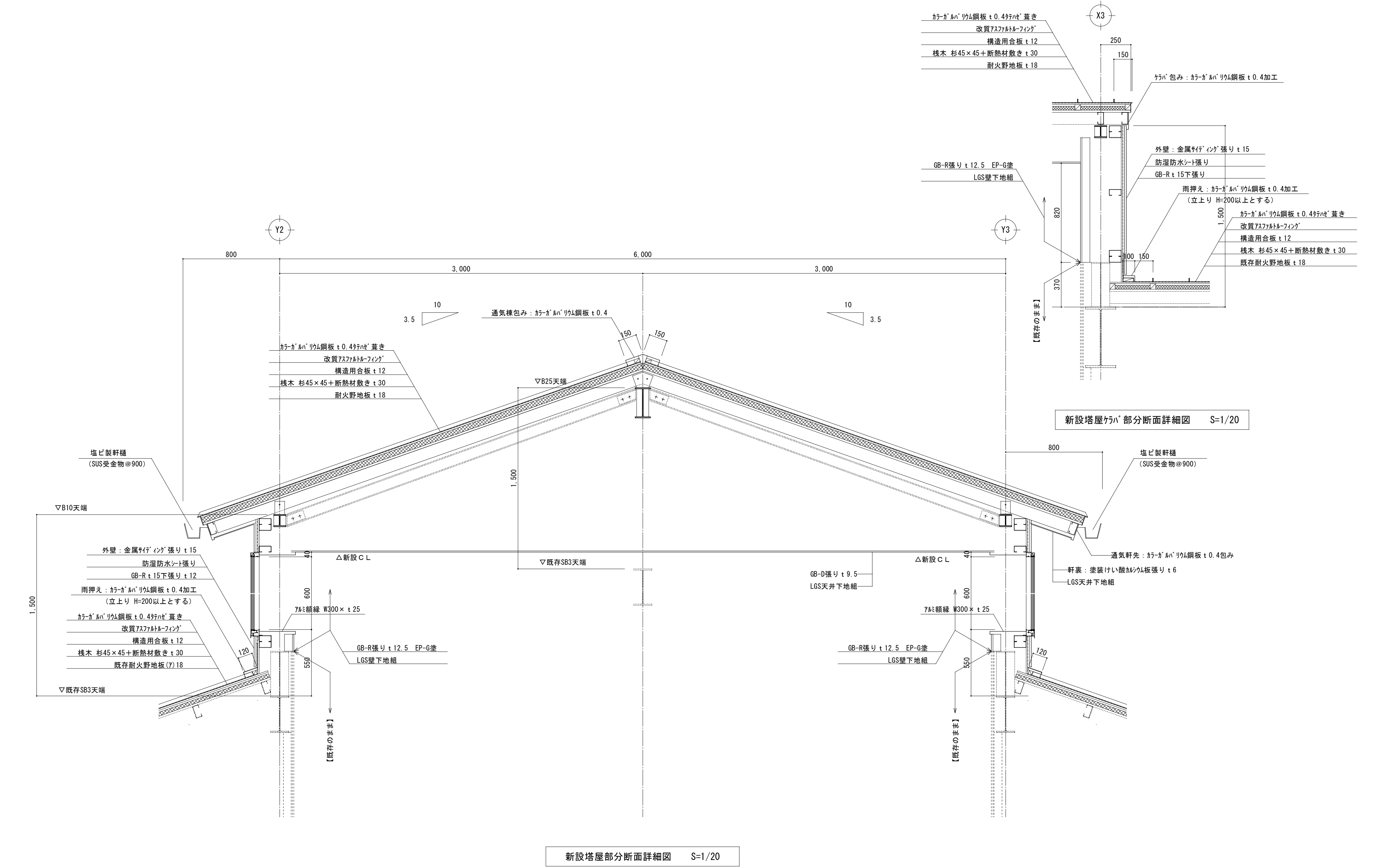


基準横骨

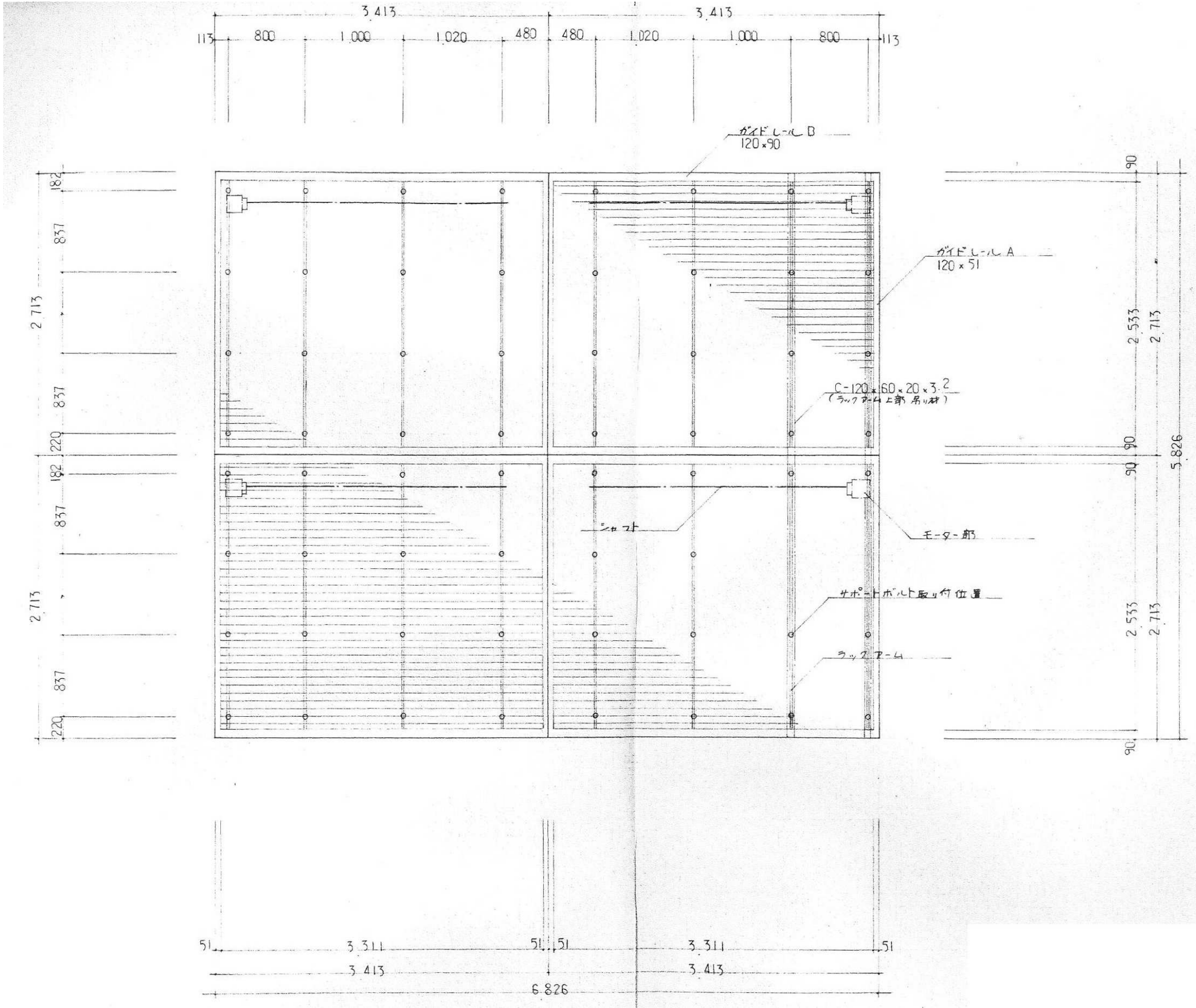
：【撤去】範囲を示す

サッシ固定部詳細図

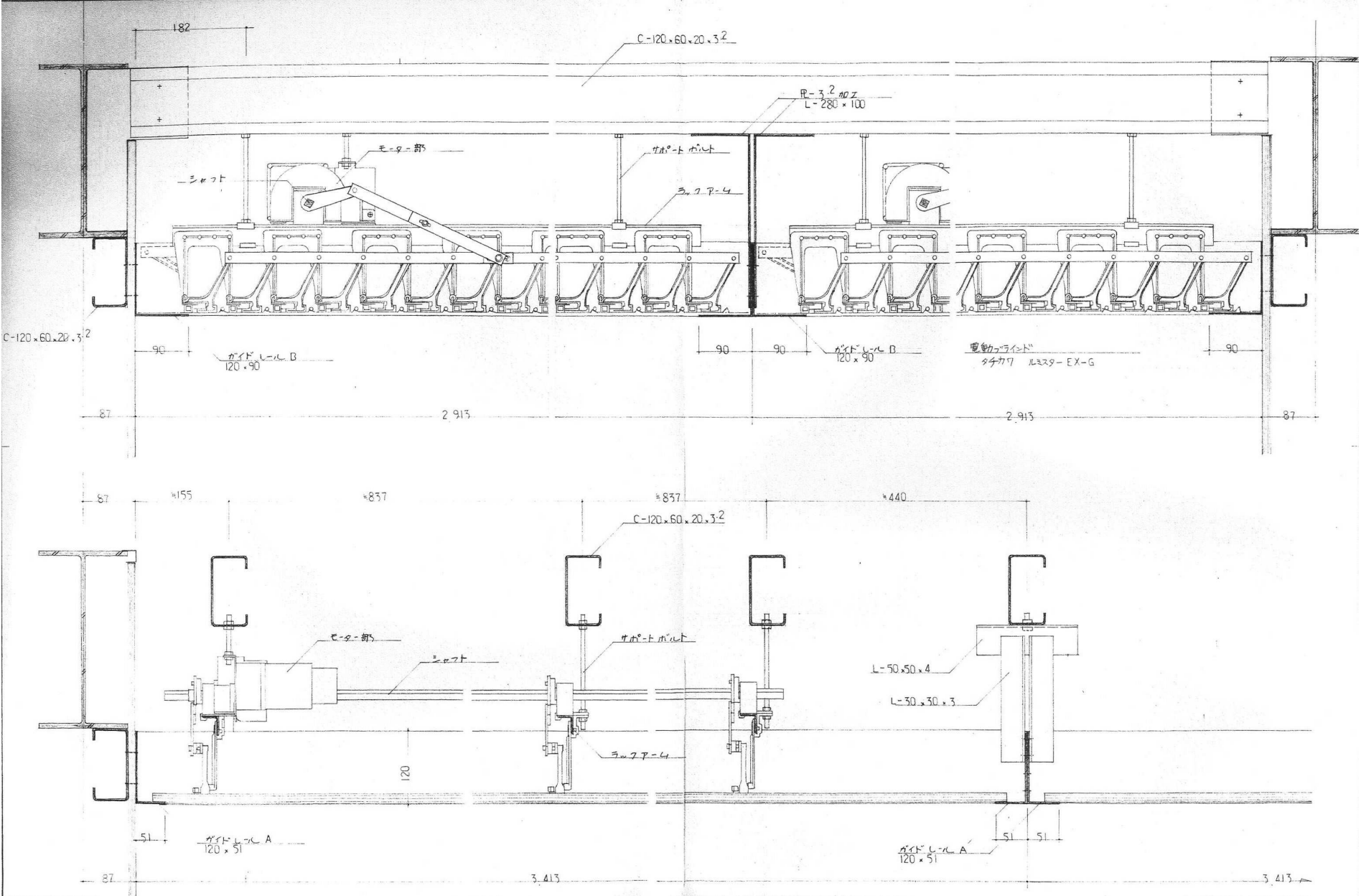
ARTICLE	※A 2→A 3縮小 (71%)		担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE		A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市知高町1-5-1 三建ビル4F Tel/Fax: 088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事許可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第27025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
						SUBJECT	既存トップライト撤去図-2	SCALE	1/N			A - 17



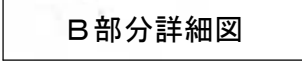
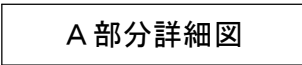
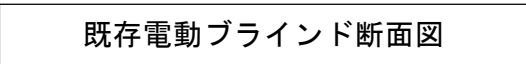
ARTICLE	※ A 2 → A 3 縮小 (71%)		担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE		A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市高知1-5-1 三建ビル4F Tel/Fax: 088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事特可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.	
	外壁は[防火構造 (PC030NE-0084) 同等]とする。					SUBJECT	新設塔屋 断面詳細図	SCALE	1/20				
												A — 18	



既存電動ブラインド平面図

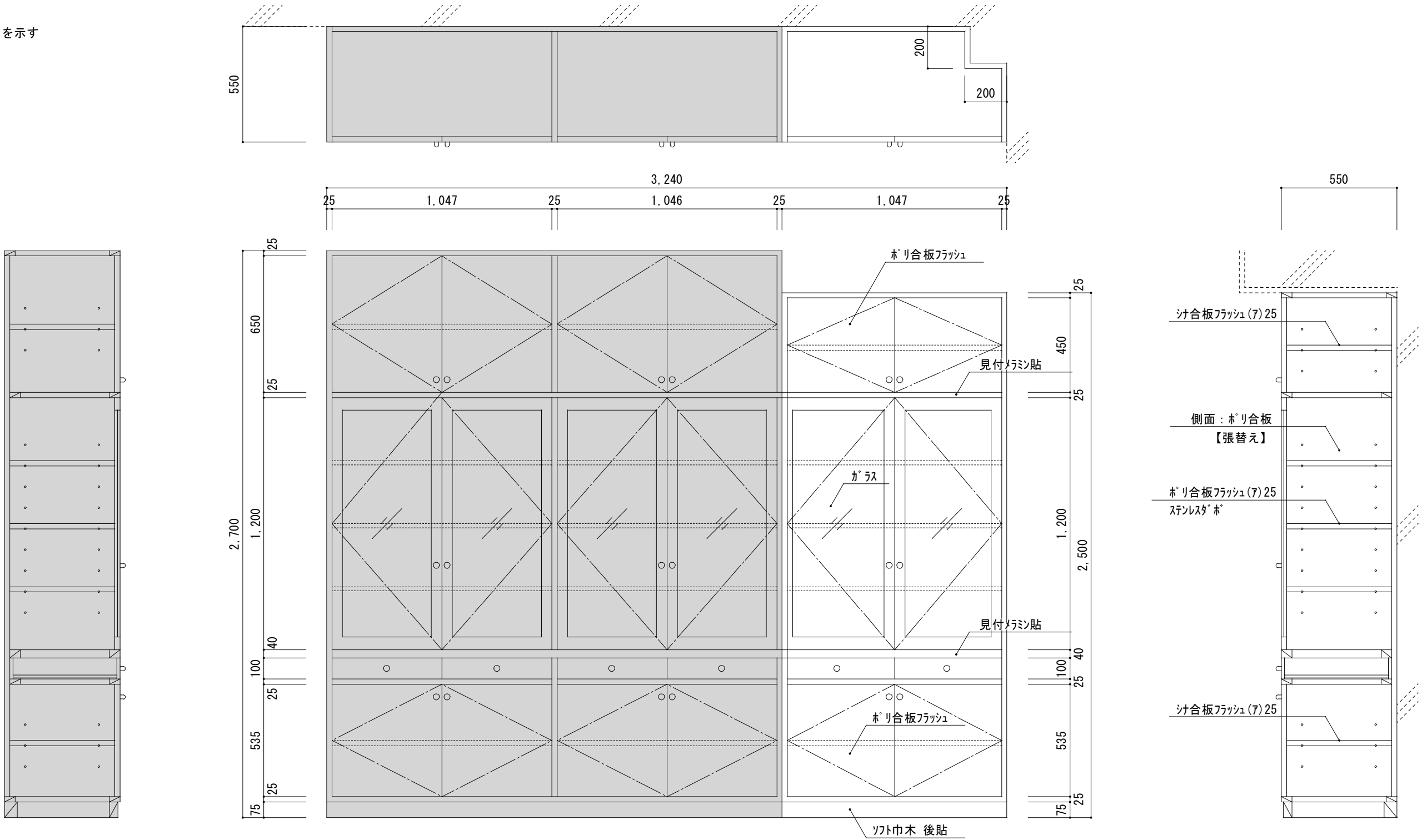


既存電動ブラインド詳細図

[illegible]

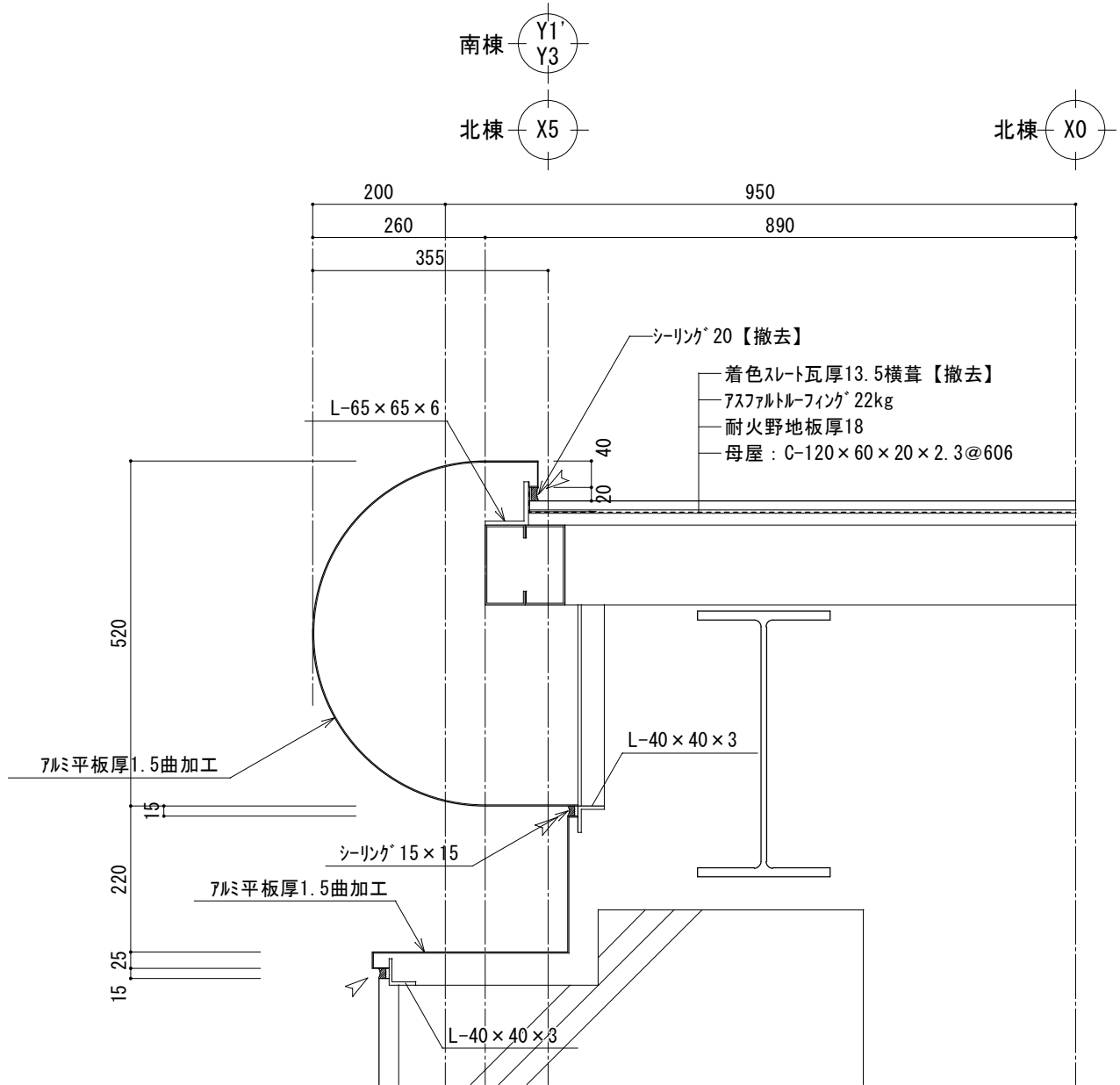
記号・位置		1 AD	北棟 1階 ホール		改修 1カ所	100 AW	北棟 2階 ロビー・ホール		新設 4カ所					
姿 図														
	【ガラス取替え】													
	【新設】													
	アルミ 排煙外倒し窓（開放角度45°）													
	70													
	アルミパネル t5													
内部アングルピース、付属金物一式														
アルミ額縁 25×300、手動排煙オペレーター（2FL+800～1500内に取付）														
9	収納棚										S=1/20			
	南棟 1階 食生活改善室 1カ所													

：【改修範囲外】を示す

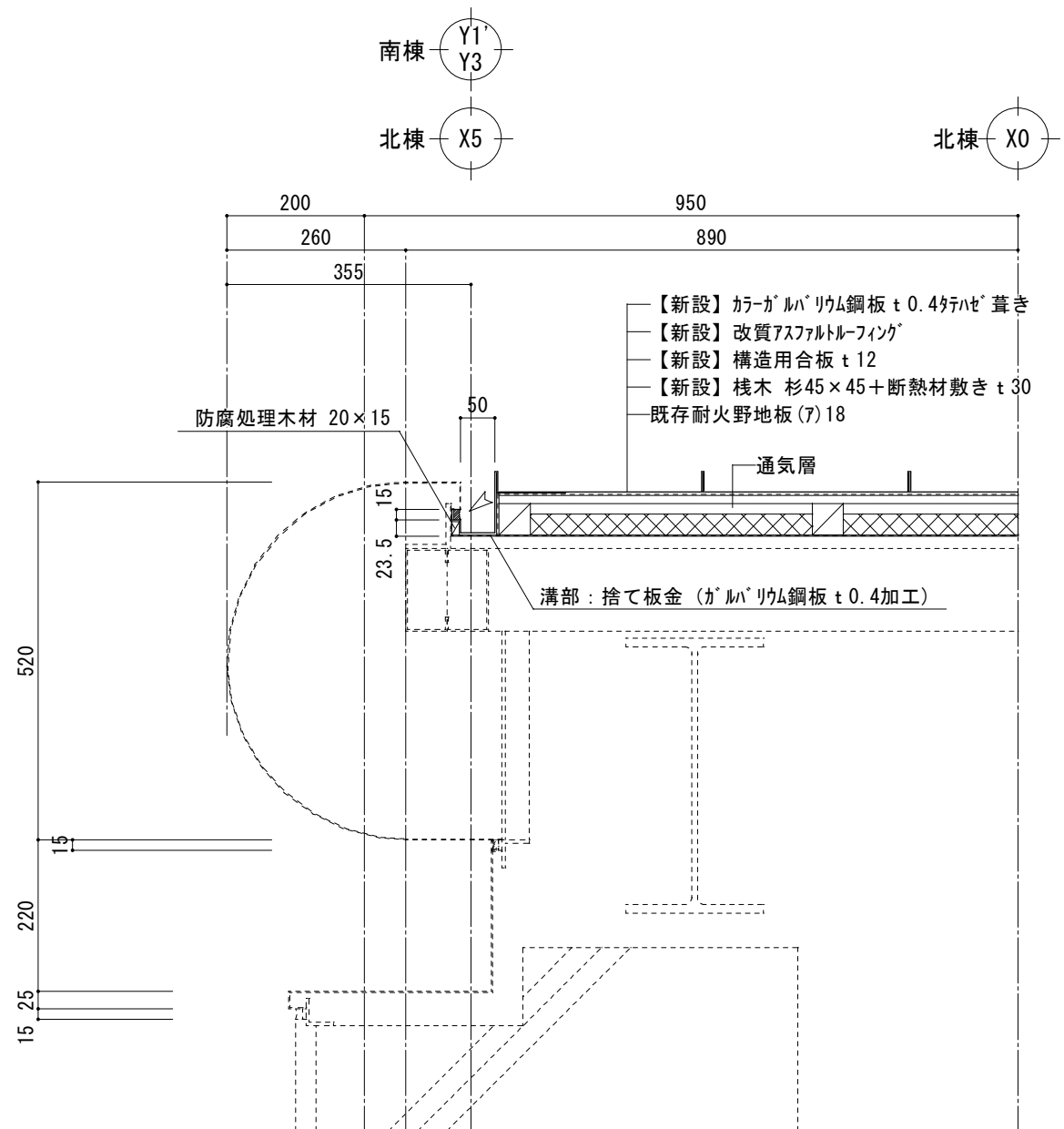


		既存同等に【撤去・新設】											
材 質		図示										材 質	
金 物		ステンレスレール、ステンレス丸型取手、ステンレス家具丁番、マグネットキャッチ										金 物	
ガラス		トーメイガラス (7)3.0【撤去】→【新設】強化トーメイ (7)4.0										塗 装	
備 考		両開き扉には耐震ラッチ新設（3カ所）										備 考	
ARTICLE				担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE		A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市坊内町11-5-1 三建ビル4F Tel / Fax: 088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事許可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
							SUBJECT	建具表・家具図	SCALE	1/20、1/50			A — 21

改修前

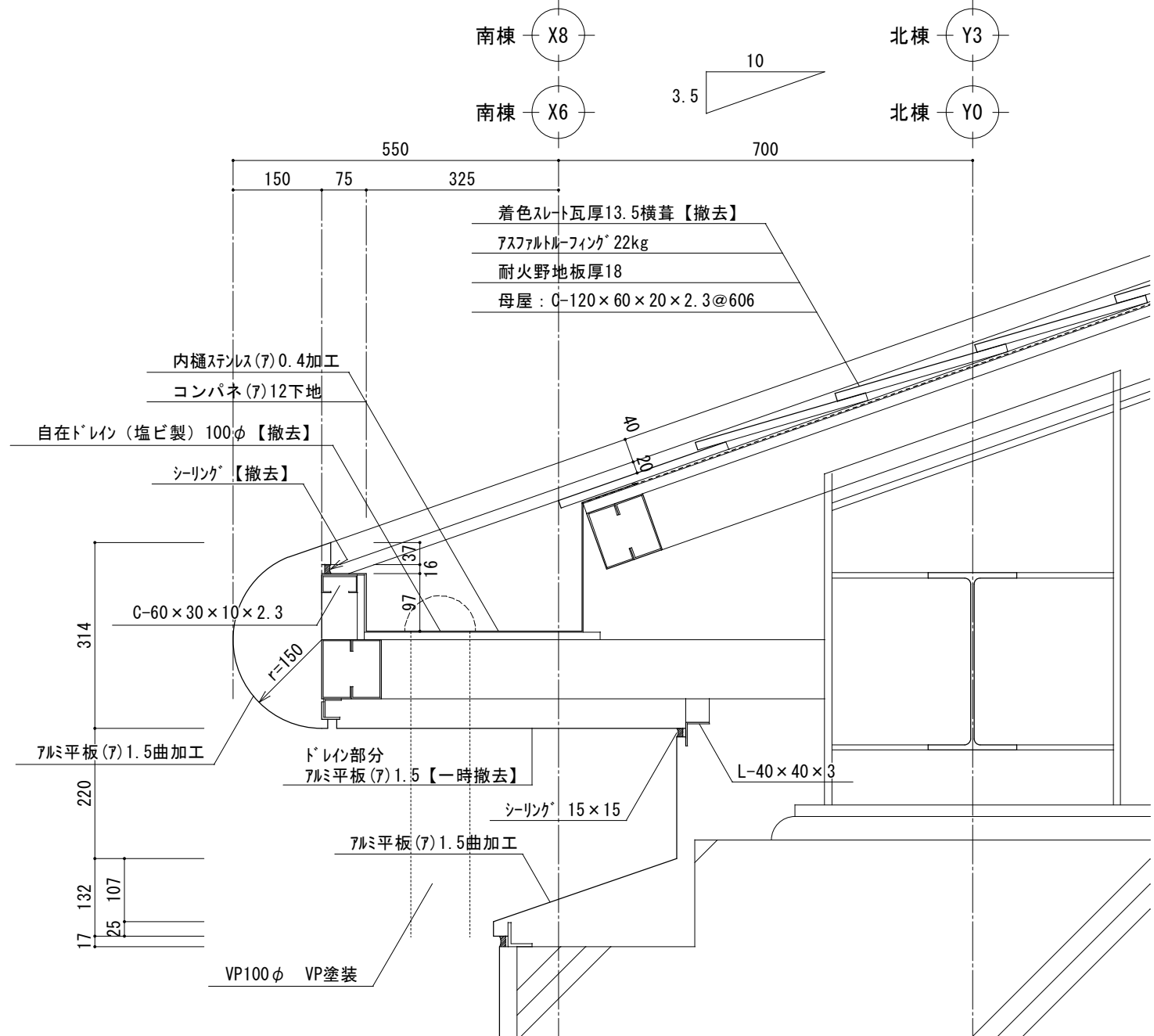


改修後

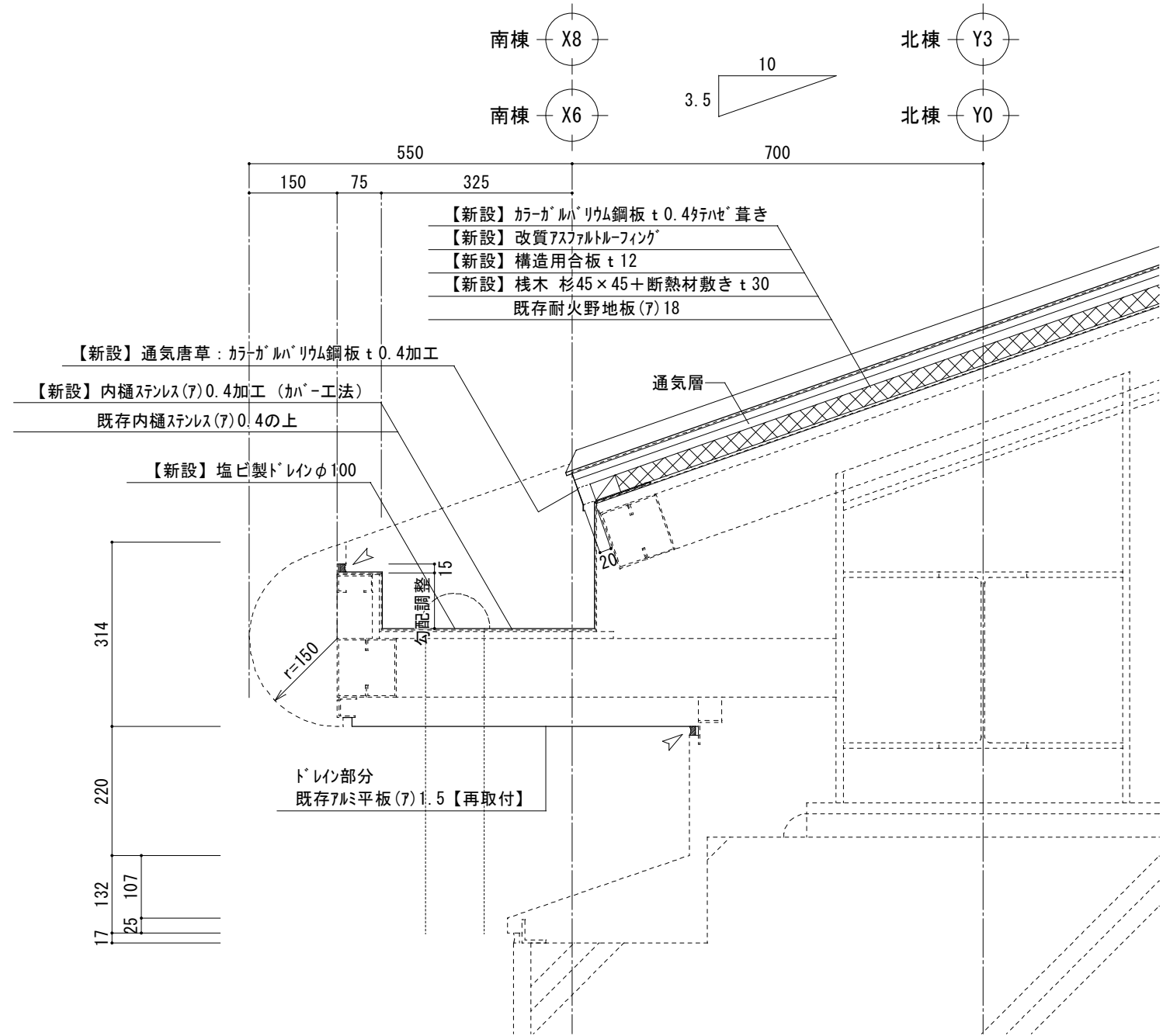


▽ : 【新設】シーリング 15 x 10 を示す

改修前



改修後



▽ : 【新設】シーリング 15 x 10 を示す

鉄骨特記仕様

○ 特記無き限り構造詳細は、下記によるものとする。本工事に関係なき項目は、適用しない。

1 鉄骨業者

- 大臣認定「M」グレード以上の業者。

2 使用材料

○ 鋼材	主架構材	柱	—	SS400, BCR295	通しダイアフラム	—	NDコア
		間柱	—	SS400	内ダイアフラム	—	
		大梁	—	SS400	一般鋼板	—	SS400
		小梁	—	SS400	柱ベースプレート	—	SW490B
		母屋、胴縁	—	SS400 (ZAM仕様)	間柱ベースプレート	—	SS400
					一般鋼板	—	SS400

- 高力ボルト トルシア形高力ボルト 第2種 S10T [JIS形高力ボルト (F10でも可) 溶融亜鉛メッキ高力ボルト F8T [母材が亜鉛メッキされている部分]
- 中ボルト JIS B1180-1181 中3級
- アンカーボルト 柱 1S9740C (I Sベース) 間柱 SS400 ダブルナット締めとする。
- ベースモルタル 高強度無収縮性モルタル

3 溶接工作一般

- 工作標準、溶接記号及び開先等は、右図に示す。
- 溶接は原則として、工場溶接とする。現場溶接の生じる場合は「現場溶接要領書」を提出し、監督員の承諾を受ける事。
- 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

4 継手部一般

- 柱、梁材の継手は高力ボルト摩擦接合とする。
- 継手位置における鋼材間のクリアランスは最大 10 mm とする。
- 高力ボルト及び中ボルトのピッチ等は下記による。

ボルト 軸径		M12	M16	M20	M22
ボルト用 孔径		14.0	18.0	22.0	24.0
ボルト ピッチ		50	60	60	60
最小 縁端距離	はしあき	30	40	40	40
	へりあき	20	22	26	28

- 継手接合部摩擦面は、浮錆、黒皮、塗装等の摩擦力を低減さすものは完全に除去する事。

5 防錆塗料

- 材料 JIS K5674 (鉛・クロムフリーさび止めペイント) 第1種 塗付膜厚1回 35μ以上
※~~外部鉄骨見出し部は、溶融亜鉛メッキドブ漬ゲ (HDZ-B) とする。~~
~~継手HTB部は、リン酸亜鉛皮膜処理をする。~~
- 継手部、現場溶接部 (コンクリートに接する部分) を除き、工場一回現場一回塗り、現場補修とする。
- 鉄面の素地ごしらは「建築工事共通仕様書」 (最新版) による。

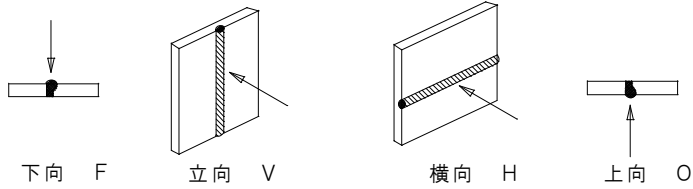
6 検査試験

- 現寸検査 原則として行う。CADにて代行することも可。
- 開先組立検査 立会い検査を行う。写真報告必要。
- 溶接試験 第3者による超音波探傷試験を、全数の20%以上について行う事。
平均出検品質限界 (AOQL) は4%とする。
- ボルト締め付け試験 F10T高力ボルトを使用のとき行う。

7 溶接接合

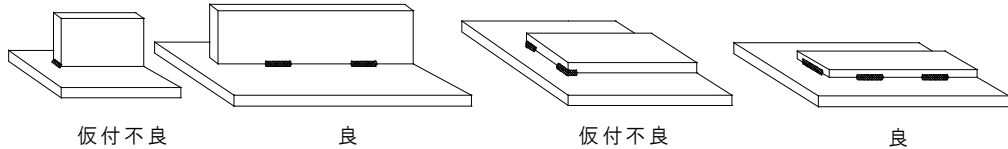
- 溶接技能者 溶接技能者は施工する溶接に適するJIS Z3801 (手溶接) 又はJIS Z3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする
- 溶接機器 (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ロ) アークエアーガウジング機 (直流) (ハ) サブマージアーク溶接機1式 (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機 (ホ) 溶接電流を測定する電流計 (ヘ) 溶接棒乾燥器
- 溶接方法 アーク手溶接 (M C) ガスシールドアーク半自動溶接 (G C) セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (N G C) アークエアーガウジング (A A G)

○ 溶接姿勢

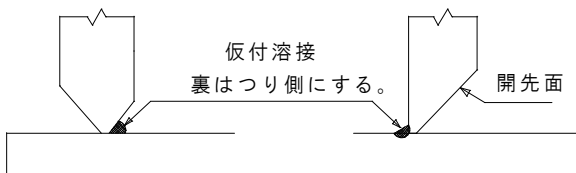


○ 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

- (イ) 仮付位置 組立て溶接は、溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

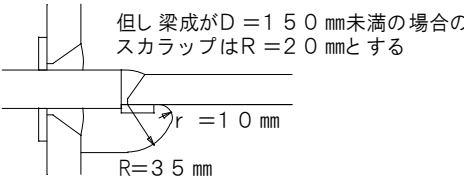
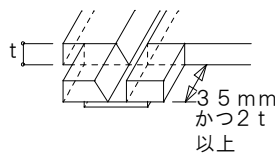


(ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



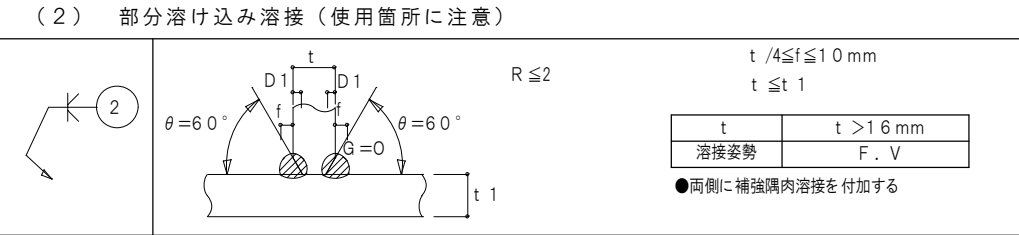
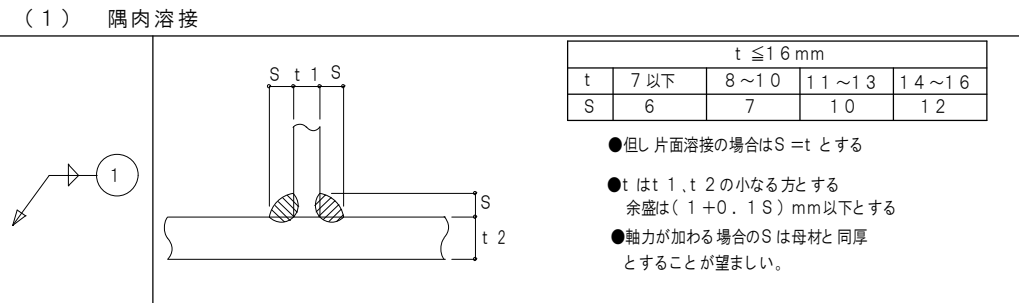
○ 溶接施工

- (イ) エンドタブ I) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける II) エンドタブの材質は、母材と同質とする III) エンドタブの長さは、MC: 35mm以上 NGC、GC: 40mm以上と特記のない場合は、溶接終了後母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金 材質は母材と同質材料とする
- (ハ) スカラップ 改良型スカラップとする
- (ニ) 裏はつり 標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける
- (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先面をいためない様に、養生を行なう

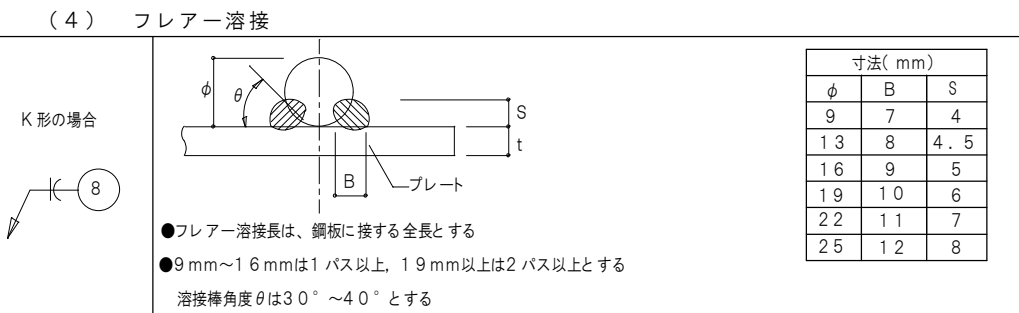
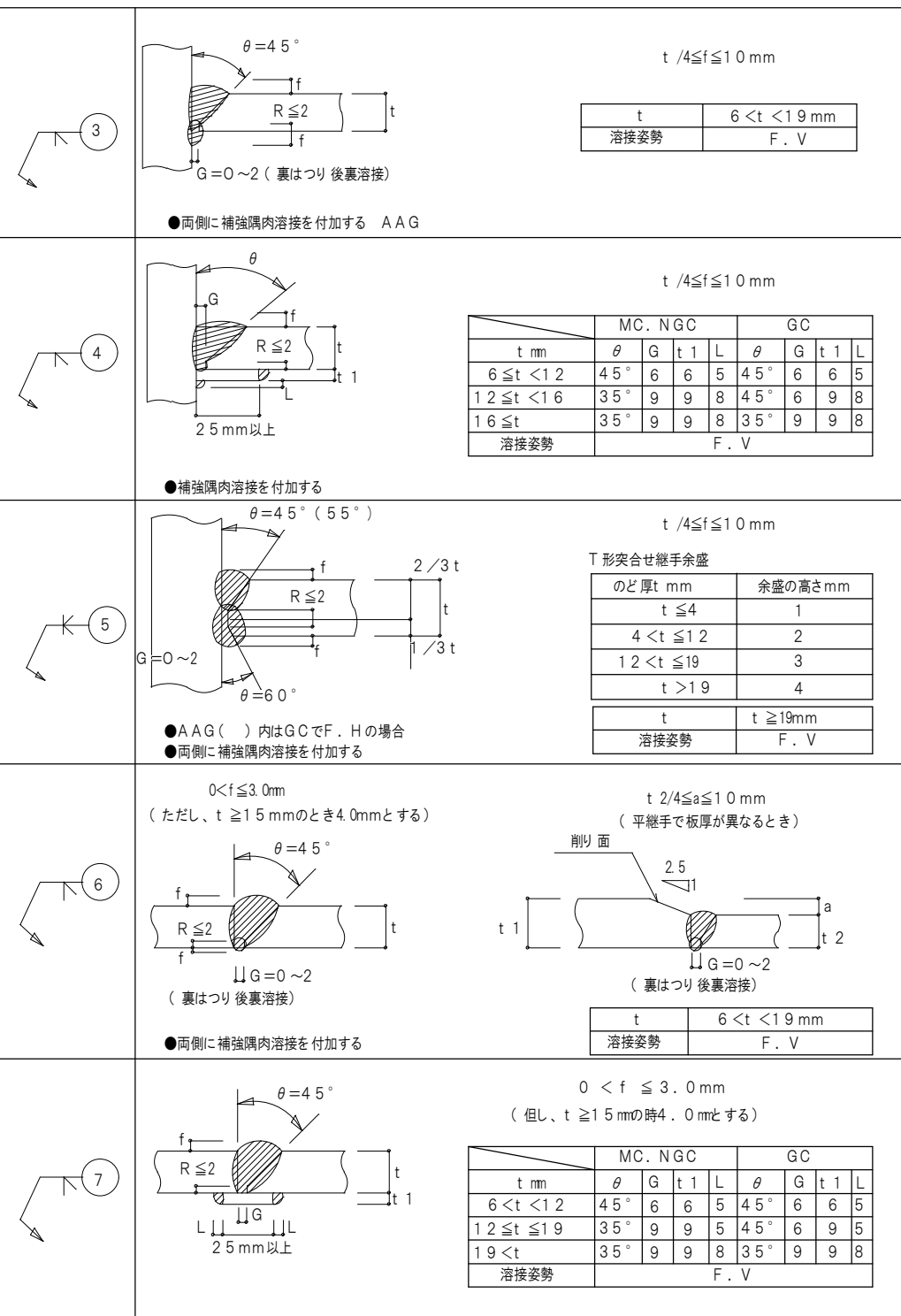


- 隅肉溶接は原則として、回し溶接を行う。
- パネルゾーン部がBCR295以上の材料を使うときに、内ダイアフラムに取りつく大梁端の突き合せ溶接は、CO 2半自動溶接で行うこと。

溶接標準図 (注) f: 余盛 G: ルート 間隔 R: フェース S: 脚長 (単位:mm)



(3) 完全溶込み溶接 (平継手, T形継手)

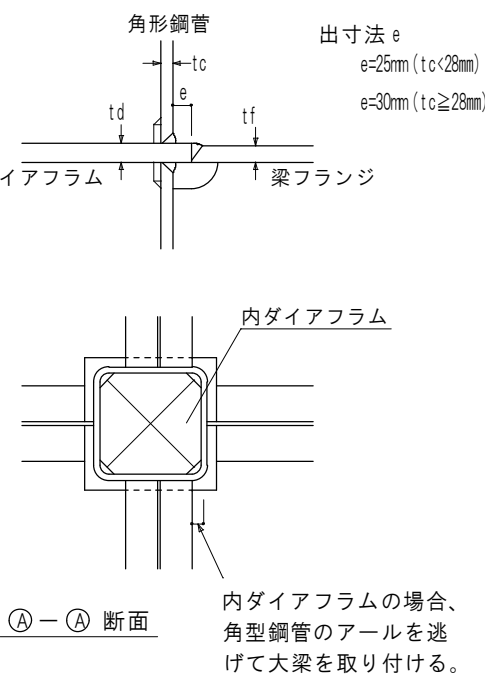


H 形 鋼 柱

柱通しタイプ



通しダイヤグラム形式



裏当て金

裏はつり
又は裏当て金

裏当て金

裏当て金

$t \quad t_d$

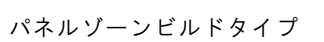
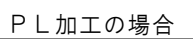
裏当て金

$t_f \quad t_d$

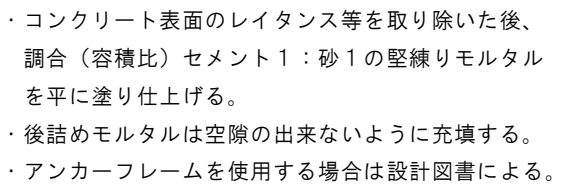
裏当て金

$t \quad t_d \geq t_f$

H鋼加工の場合



一般の間柱の場合

~~転造ネジの場合~~

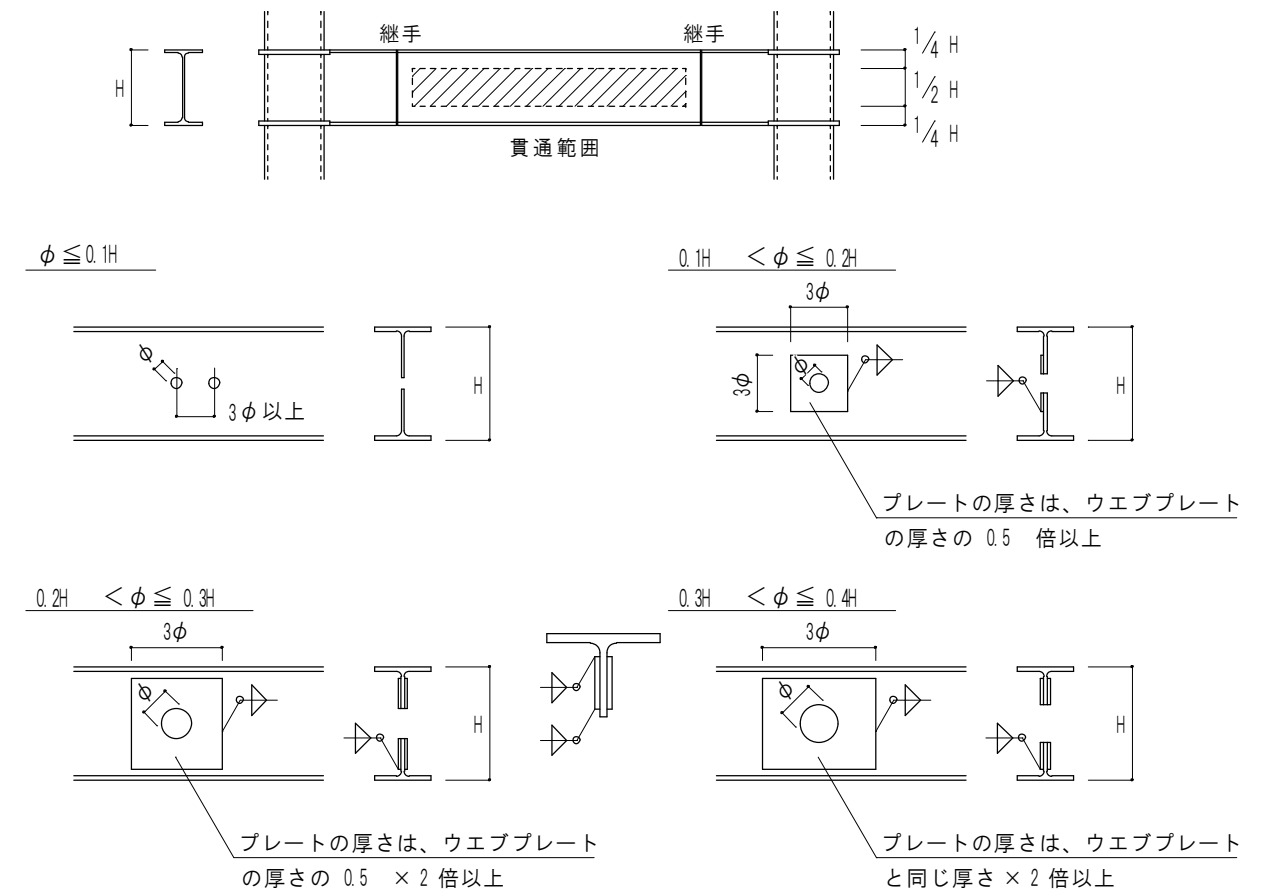
○ 梁貫通孔補強

既製補強金物による場合

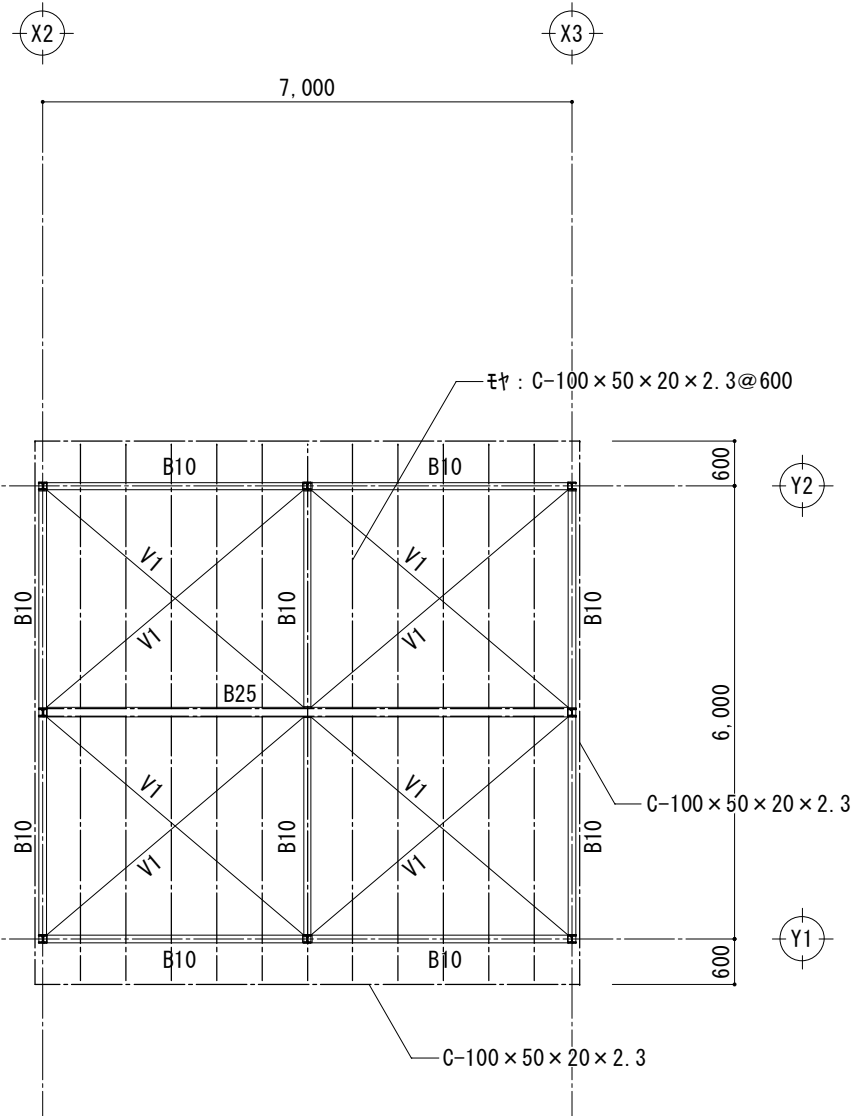
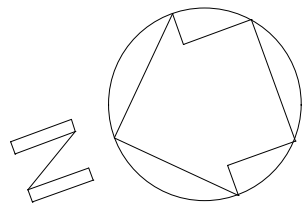
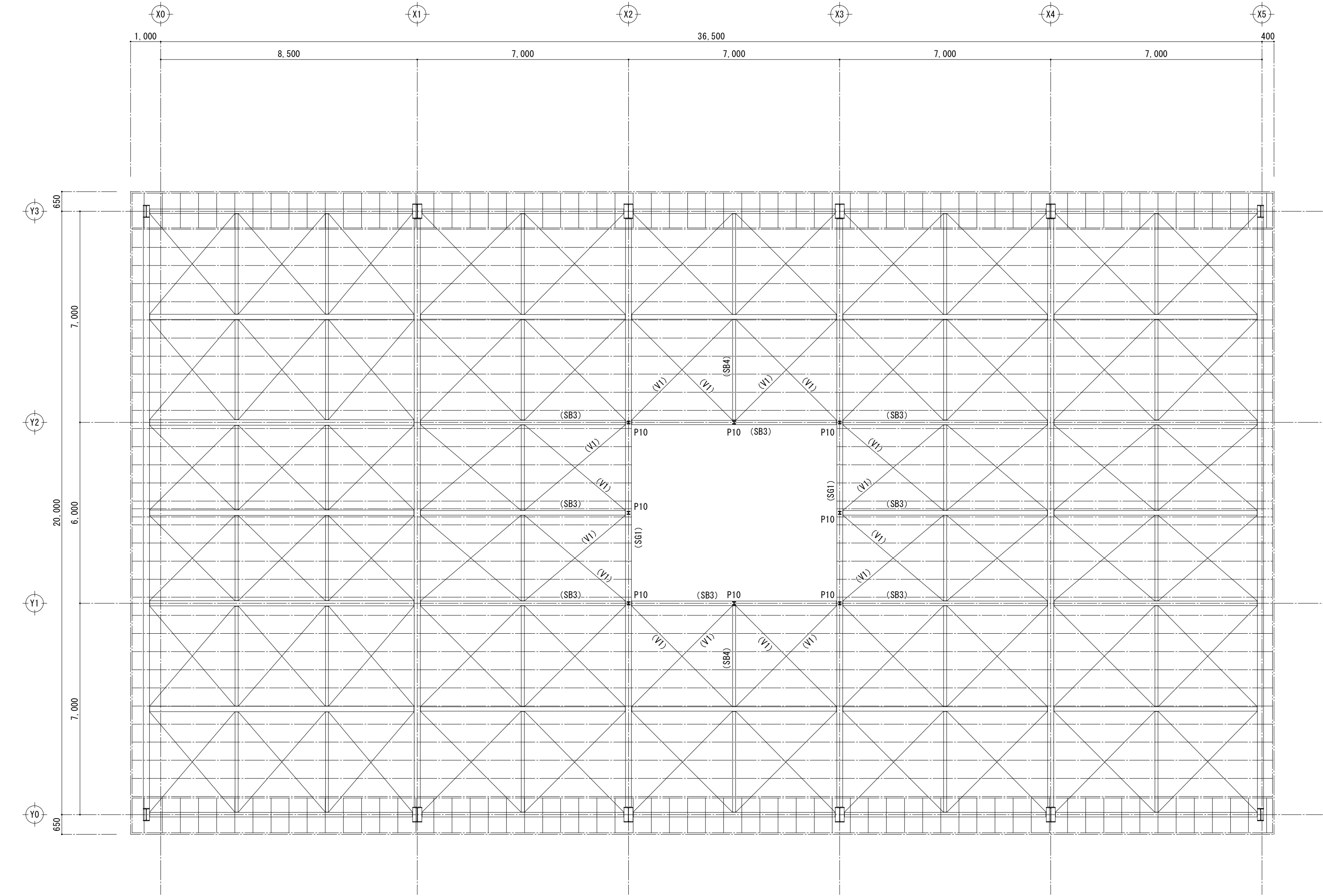
- ・補強範囲は、既製補強金物（ハイリング、フリードーナツ、OSリング等）の適用規定に従うものとする。

既製補強金物によらない場合

- ・特記無き限り補強方法は下図によるが、孔径（φ）は 0.4H 以下とし、そのピッチは 3.0 φ 以上とする。
- ・スリーブは梁成の中央 $\frac{1}{2}$ の範囲とする。



ARTICLE			担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE		A L 建築設計事務所株式会社 Archi tect Laboratory design of fice Co., Lt.d. 高知市中央町1-5-1 三建ビル4F Tel./Fax:088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事許可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大臣)第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
						SUBJECT	構造特仕仕様書(2)	SCALE	1/N			S — 02



小屋伏図（天窓部分） S=1/100

小屋伏図 S=1/100

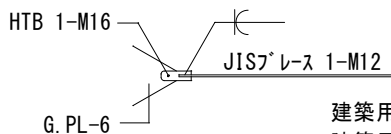
既存部材リスト

(SG1)	H-500×200×10×16
(SB3)	H-300×150×6.5×9 G.R-9 HTB:3-M16
(SB4)	H-200×100×5.5×8 G.R-6 HTB:2-M16
(V1)	L-75×75×12

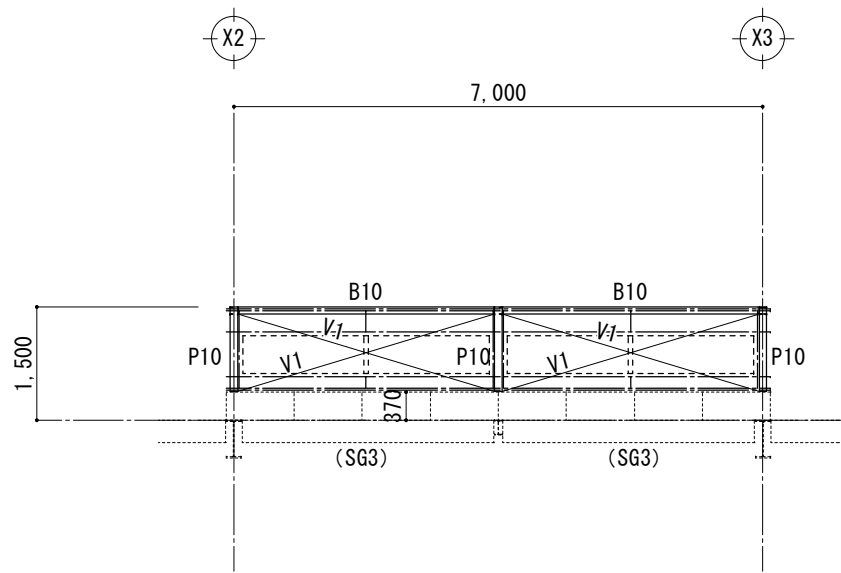
新設部材リスト

P10	H-100×100×6×8
B25	H-250×125×6×9 G.R-9 HTB:2-M16
B10	H-200×100×5.5×8 G.R-9 HTB:2-M16
V1	JIS7°レース 1-M12

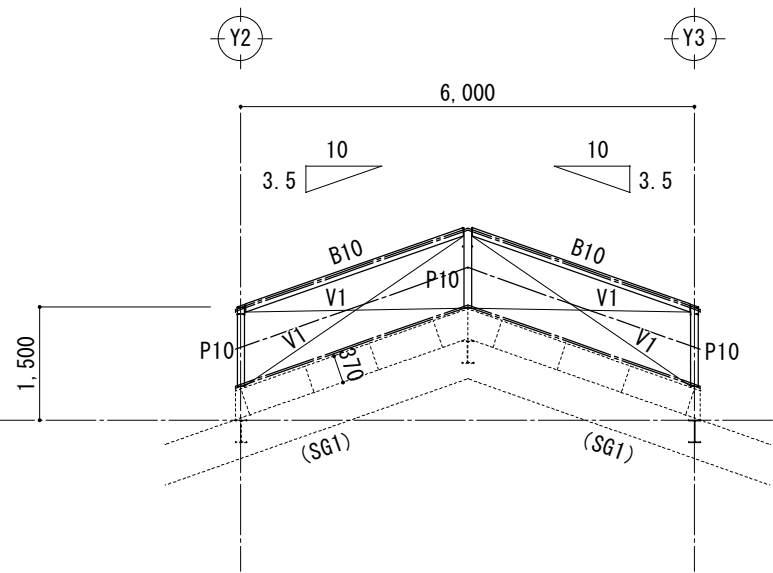
JIS7°レース



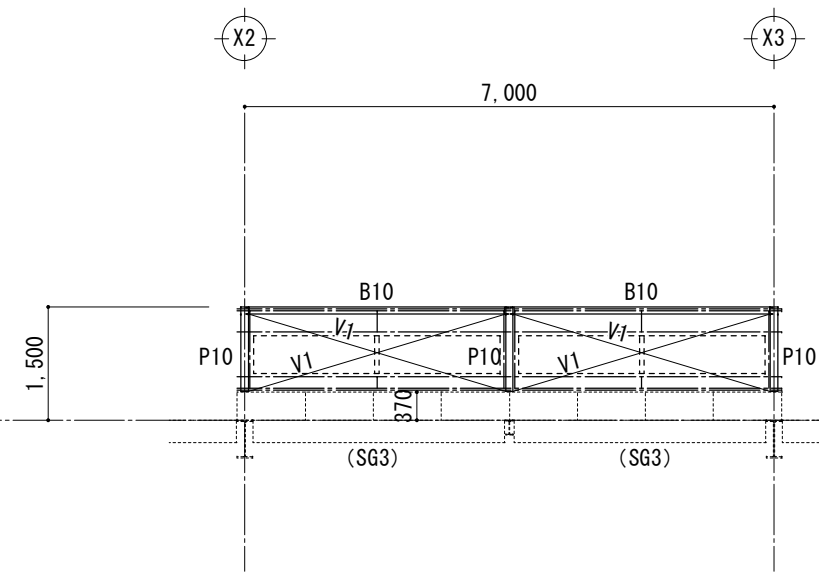
建築用タンパッカル JIS A 5540
建築用タンパッカル胴 JIS A 5541
建築用タンパッカルホルト JIS A 5542



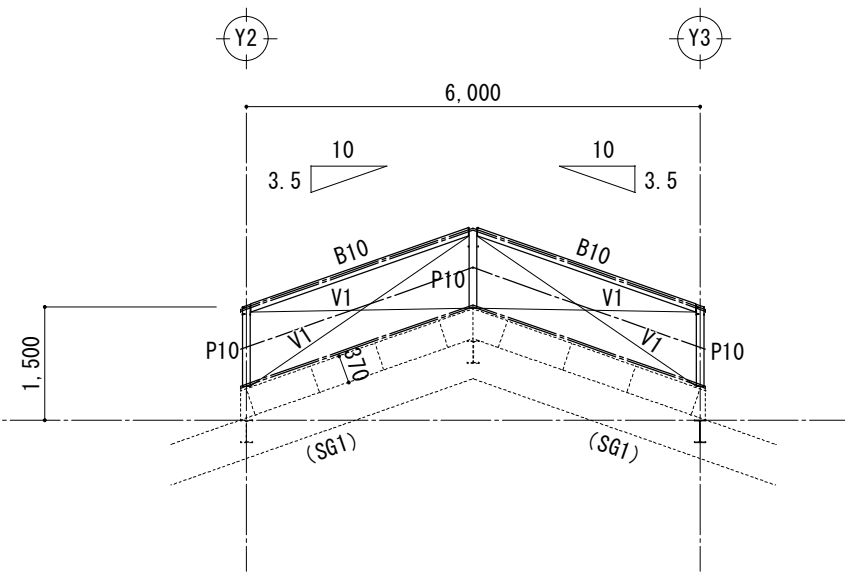
Y1通り軸組図 S=1/100



X2通り軸組図 S=1/100

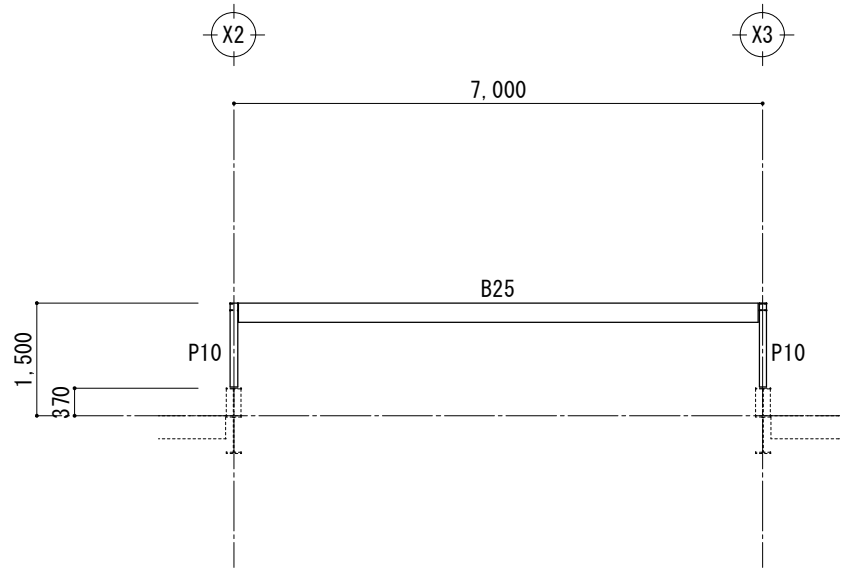


Y2通り軸組図 S=1/100



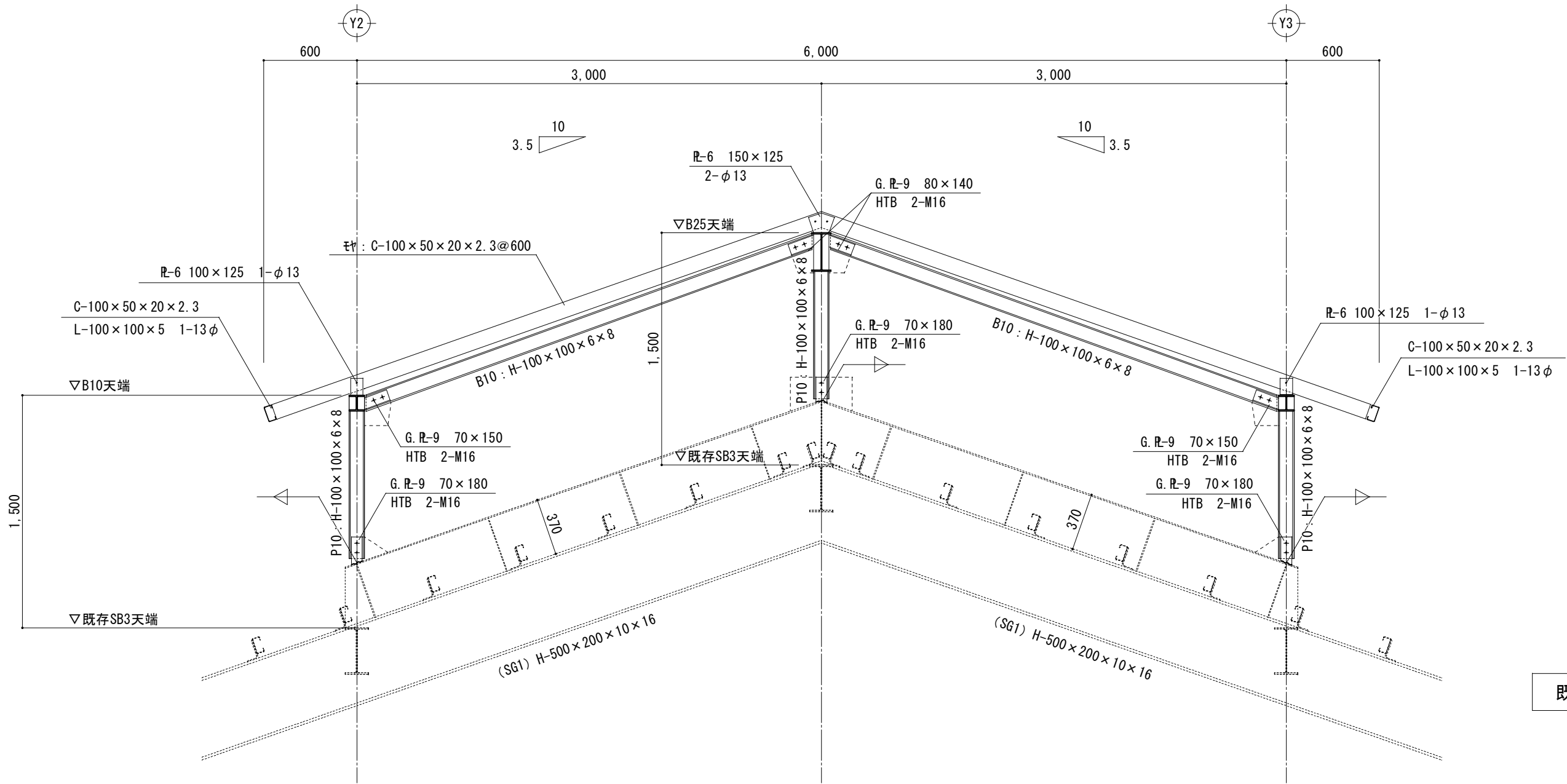
X3通り軸組図 S=1/100

※特記なき胴縁 〰〰〰 は、C-100×50×20×2.3
〰〰〰 は、2C-100×50×20×2.3を示す

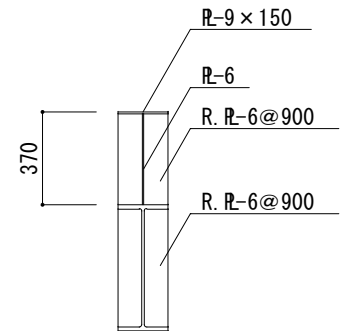


Y1-Y2間軸組図 S=1/100

B10	H-100×100×6×8 (SS400)
B25	H-250×125×6×9 (SS400)



鉄骨詳細図 S=1/30



既存トップライト周囲梁 S=1/30

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 高知県南国市大浦甲320

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令別表第一
南国市保健福祉センタ	R C造	2 階建	3229.94 m ²	15項
		階建	m ²	
		階建	m ²	

(注) 延べ面積は建築基準法による表記

3. 工事種目

建物別及び屋外工事種目	南国市保健福祉センタ			
電灯設備				
動力設備				
受変電設備				
自家発電設備				
避雷設備				
非常灯設備				
構内交換設備				
インターホン設備				
テレビ共聴設備	○			
電気時計設備				
放送設備				
誘導灯設備				
トイレ呼出表示設備				
火災報知設備				
太陽光発電設備	○			
構内線路				

II 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版（ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版）及び電気設備工事標準図（令和4年版）による。

2. 特記仕様

- 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

項 目	特 記 事 項
① 機材 ② 工事用電力、水、その他	設備機材等指定表による。 本工事に必要な工事用仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 自家用電気工作物保安管理業務委託先 ○ 四国電気保安協会 ・ 中央電気保安協会 ・ () 構内に作ることが ・ できる ○できない 次のものは原則として再生クラッシュランを使用する。 (屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地業) アスファルトは原則として再生品を使用する。 工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。 ○ 構外搬出 搬出先の名称 () 所在地 () 運搬距離 () km その他 搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ・ 構内指定場所に敷き均し ・ 構内指定場所に堆積 高知県土木部建築課 特記仕様書（共通編）「産業廃棄物の処理について」によること。 はり貫通部のスリーブ及び補強 スリーブ ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアーチェック、フロアーヒンジ ※別途工事 ・ 本工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強 ※別途工事 (墨出しは本工事) ・ 本工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強 ※本工事 ・ 別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強 仮 枠 ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事 照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート ※本工事 ・ 別途工事 屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット(ふたを含む) ※別途工事 ・ 本工事 屋外の受変電設備基礎 ※本工事 ・ 別途工事 動力機器（電動機など）への接続 ※本工事 ・ 別途工事 電話保安器用接地 ※本工事 ・ 別途工事 図中に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。
③ 工事用仮設物 4 建設副産物	
5 建設発生土の処理	
⑥ 産業廃棄物の処理について ⑦ 他工事との取り扱い	

⑧ 電 線 類

9 呼び線

⑩ フラッシュプレートの材質

11 か' - プ' レートの用途別表示

12 接 地 極

13 埋 設 表 示

⑭ 再 使 用 機 器

⑮ 絶 縁 抵 抗 の 測 定

⑯ 補 修 な ど

⑰ 屋上・屋側の支持金物

18 結 露 防 止

19 は っ り ・ 非 破 壊 検 査

20 天 井 仕 上 区 分

21 配 線 器 具

22 L E D 照 明 器 具

23 照 明 器 具 の 接 地

24 照明器具用位置ボックス

25 非常用照明器具の照度測定

26 分 電 盤 分 岐 回 路

⑳ テレビ共同受信設備

28 構 内 埋 設 線 路

29 耐 震 施 工

EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
耐火ケーブル (FP) 及び耐熱ケーブル (HP) はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。

長さ1 m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

・ 樹脂製 ○ 新金属 ・ ステンレス

シール等を貼付する。

下記による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
共 同 接 地	E A E D	10Ω以下	E B (14φ) x 3連-2組
A 種	E A	10Ω以下	E B (14φ) x 3連-2組
B 種	E B	150/I _s Ω I _s =1線地絡電流	E B (14φ) x 3連-2組
D 種	E D	100Ω以下	E B (10φ) x 1
C 種	E C	10Ω以下	E B (14φ) x 3連-2組
避 雷 用	E L	10Ω以下	E P x 1
高 圧 避 雷 用	E L H	10Ω以下	E B (14φ) x3 連-2組

避雷設備用及び共同接地極の表示 黄銅板製

上記以外の接地極及び地中に配線の表示 100φ x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込んだものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。

取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうち取付を行う。

工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。

工事の施工に伴い、既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

ステンレス製とする。（装柱金物は除く）

内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。
既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。
はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行い、施工前に工事監理業務受注者もしくは県建築担当による確認後、施工すること。なお、鉄筋・配管類を切断する恐れがある場合は、事前に監督職員と協議すること。コア抜き施工後は鉄筋切断の有無を工事監理業務受注者もしくは県の担当の立会により確認すること。

(室名)はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。

タンブラスイッチは大角型連用形とする。

壁付コンセントは原則として大角型連用形とし、連用形以外はプラグ付とする。

単相200V、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。

グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の判断基準適合品とする。

ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。

ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。

ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの（定格電流15A以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくす。

設置した各部屋2箇所以上

分岐用配線用遮断機はJIS協約形2P50AFの1Pサイズとする。

分岐器、分配器、直列ユニットはBS・CS共用形(BL品)とする。 ・ 双方向型
電界強度の測定 ○ 要 ・ 不要

埋設深さ 特記なきはG L - 600 以上とする。

地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。

地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート（ダブル）を管頂と地表面の中間に設ける。

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。
なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。

1) 設計用水平地震力

機器の重量 [N] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

【設計用標準水平震度】		・ 特定の施設		・ 一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上 層 階 塔屋及び屋上	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
	水槽類（※1）	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
中 間 階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水槽類（※1）	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
地下及び1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水槽類（※1）	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平震度は全階2. 0とする。

【備考】（※1）水槽類には燃料小出タンクを含む。

注：上層階の定義は次による。

2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階

13階建以上の場合は上層4階

重要機器（ ・ 自立配電盤 ・ 発電装置（防災用） ・ 直流電源装置 ）
（ ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換装置 ・ 自動火災報知受信機 ）
（ ・ 中央監視制御装置 ・ ）

2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の2分の1とし、水平地震力と同時に働くものとする。

30 コンクリート工事ノ骨材

31 ハ ン ド ホ ー ル

⑳ 工 事 ・ 完 成 写 真

㉑ 工 事 完 成 図

34 石 綿 含 有 建 材 の 調 査

本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。

ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。

写真の撮り方は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（平成28年版による 工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成30年版）」による。

下記のものを監督職員に提出する。

区 分	提 出 形 式	備 考
工事写真	A 4版カラー印刷 画像データ (JPEG形式) ※上記両方を提出	A 4版カラー印刷には、写真内容説明を記入。
完成写真	A 4版カラー印刷 画像データ (JPEG形式) ※上記両方を提出	A 4版カラー印刷には、写真内容説明を記入。 外観1枚を含む内外6枚程度。 完成検査時に提出。

共通仕様書に従った完成図及び保守に関する指導案内書を監督職員に提出する。

A 4版 2ツ折り製本 1部 ※要 ・ 不要

A 3版 2ツ折り製本 1部 ※要 ・ 不要

C A Dデータ C D - R ※要 ・ 不要

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

事前調査は書面調査、現地調査に行う事とし、調査の結果により分析による石綿含有調査を行うか監督職員と協議を行う。

石綿含有建材の設計時調査（情報提供） ・ 有 ・ 無

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面の記載のない場合は原則として下表による。

ただし、監督職員の指示により変更することがある。（住宅は別途協議）

名 称	測 点	取 付 高 (mm)	名 称	測 点	取 付 高 (mm)
ブラケット（一般）	床～中心	2, 100	避雷接地用端子箱	地上、床～中心	800
” （踊場）	”	2, 500	接地極埋設標	地上～中心	600
” （鏡上）	鏡上端～中心	150	室内端子盤（廊下、室内）	床～下端	300
避難口誘導灯	床～下端	1, 500以上	接地用端子箱	床～下端	500
廊下通路誘導灯	床～上端	1, 000以下	子時計、スピーカ	床～中心	(天井高) x0. 9
スイッチ（一般）、アッテネータ	床～中心	1, 300	呼出ボタン（身体障害者用）	”	900
スイッチ、インターホン機（身体障害者用）	”	1, 100	復帰ボタン（ ” ）	”	1, 800
コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（一般）	”	300	廊下表示灯（ ” ）	”	2, 000
” （和室）	”	150	テレビ機器収容箱	”	1, 800
” （台所）	台～中心	150	火報受信機（複合盤）	床～操作部	800～1, 500
コンセント（ガス漏れ検知器 (LPガス)）	床～中心	200	火報総合盤	床～中心	800～1, 500
分電盤、制御盤、親時計	”	1, 500	コンセント（車庫）	床～中心	800
開閉器箱、中間端子盤（EPS、電気室）	”	1, 500	ガス漏れ検知器（L Pガス）	床～警報器上端	300
			” （都市ガス）	天井面～中心	(天井面) -200
インターホン、副受信機	”		引込開閉器箱（低圧）	床～上端	2, 000

備考 （天井高）x0. 9は天井高が、2, 500～3, 000mmの場合に適用する。

㉒ 室内空気汚染
(揮発性有機化合物)対策

対象建築材料等	使 用 制 限
① 合板、木質系フローリング 構造用パネル、集成材 単板積層材、M D F パーティクルボード、ユリア樹脂板 壁紙、緩衝材、断熱材 保温材、仕上塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゲンを含有していない水性系のもとする。
③ 木材保存剤 (防蟻処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤、木工用接着剤 配管用接着剤、接合剤	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする。 2)フタル酸ジ- <i>n</i> -ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	(①②③④)の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。)

室内に関わる材料（上記①～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-*n*-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

工 事 名

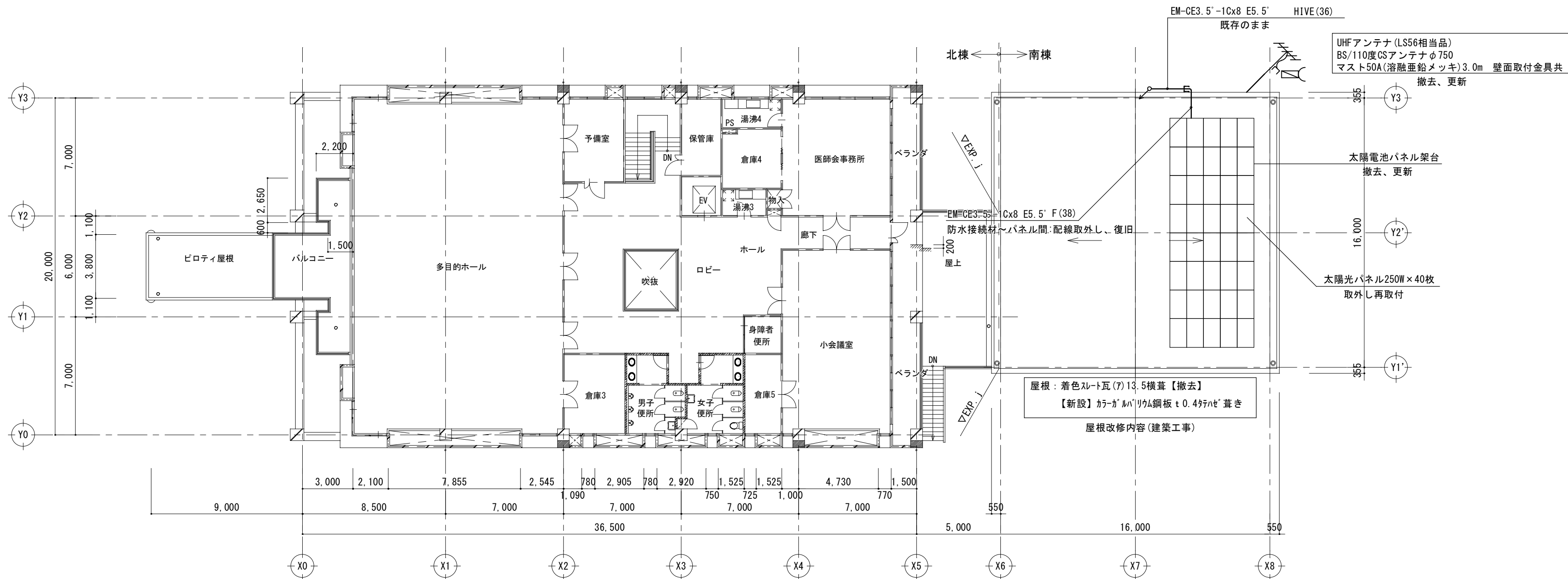
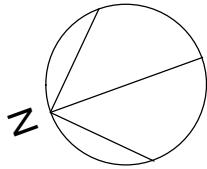
南国市保健福祉センター屋根改修工事

ARTICLE				担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE	A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市中央南町1-5-1 三建ビル4F Tel/Fax:088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事許可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
							SUBJECT	特記仕様書	SCALE		E — 01	

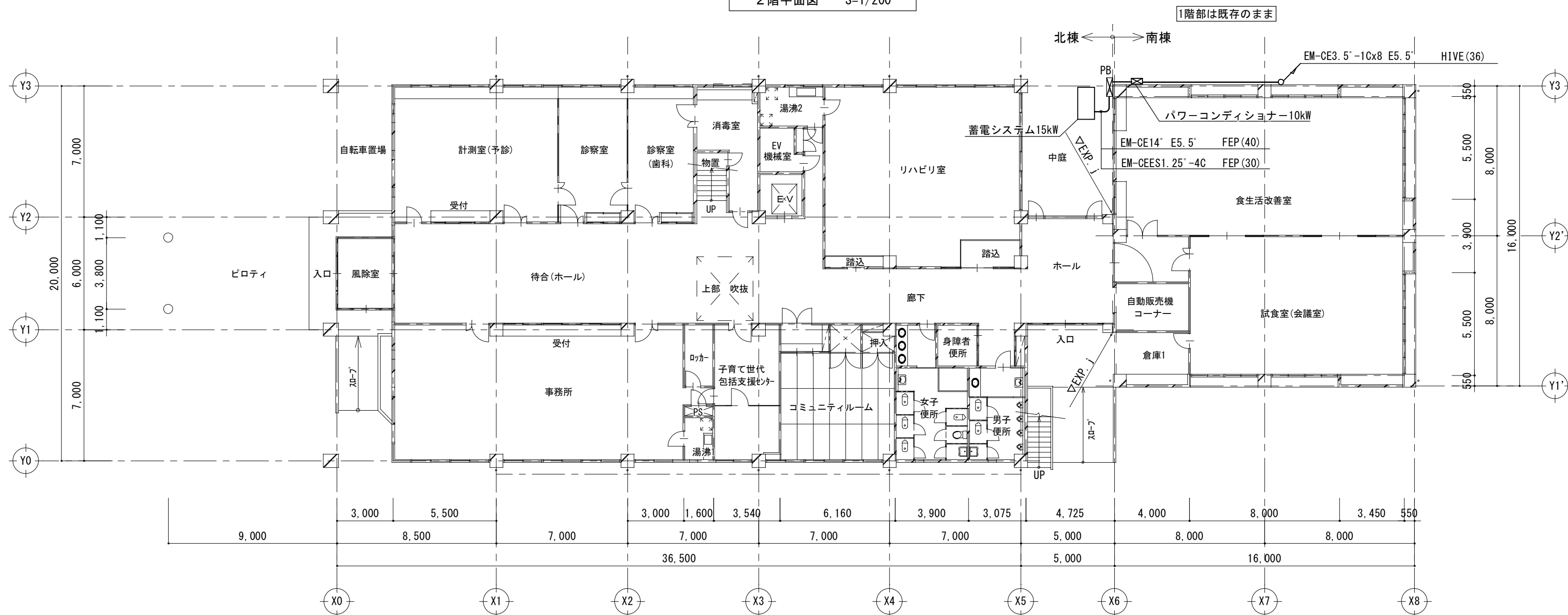
機 材 名	指 定 品	機 材 名	指 定 品	機 材 名	メーカ－名	機 材 名	メーカ－名	機 材 名	メーカ－名
電線管類・同付属品	J I Sマーク表示品			LED照明器具	アイリスオーヤマ（株） 岩 崎 電 気（株） （株）遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株） （株）YAMAGIWA 山田照明（株）	蓄電池 ﾊﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ﾆｯｸﾙ・ｶﾄﾞﾐｳﾑﾘ蓄電池	エナジーウィズ株式会社 （株）GSユアサ 古河電池（株）		
電 線 類 等	国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書（電気設備工事編） J I Sマーク表示品			照明制御装置	東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株）	監視カメラ装置	（株）JVCケンウッド・公共産業システム ＴＯＡ（株） ﾊﾞﾅｺﾆｯｸｺﾈｸﾄ（株）		
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの			可変速電動機用インバーター装置	（株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機（株） （株）安川電機				
配線器具類	J I Sマーク表示品			高圧交流遮断機（真空）	東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾂﾑｽﾞ（株） 日 新 電 機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機（株） （株）明 電 舎	盤類（公共建築工事標準仕様） 分電盤・制御盤 ｷｬﾋﾞﾅｰﾙ式配電盤	（株）イトウテック 共 栄 電 機 工 業（株） 光 電 設（株） 上記の他、令和５年版「建 築材料・設備機材等品質性 能評価事業 設備機材等評 価名簿」に掲載されたもの		
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	J I Sマーク表示品			高圧限流ヒューズ	（株）宇都宮電機製作所 エナジーサポート（株） 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾂﾑｽﾞ（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）	太陽光発電装置	山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾂﾑｽﾞ（株） パナソニック（株）		
電磁接触器 JIS C 8201-1,JIS C 8201-4-1 に 適合するもの	J I Sマーク表示品			高圧負荷開閉器	エナジーサポート（株） 大垣電機（株） （株）新愛知電機製作所 （株）戸上電機製作所 日本高圧電気（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機（株）	交流無停電電源装置（UPS）	エナジーウィズ株式会社 山洋電気（株） （株）GSユアサ （株）GS17ｳｨﾝﾌﾗｽﾃﾂﾑｽﾞ 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾂﾑｽﾞ（株） 富士電機（株） 古河電池（株） 三菱電機（株） （株）明電舎		
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	J I Sマーク表示品			高圧進相コンデンサ	（株）指月電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾂﾑｽﾞ（株） ニ チ コ ン（株） 日 新 電 機（株） 三 菱 電 機（株） 利 昌 工 業（株） ※ 1				
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）	J I Sマーク表示品			※ 1 モールドコンデンサに限る					
非常用照明器具	（社）日本照明器具工業会 の J I L 適合マークが貼付 されたもの			高圧変圧器	愛知電機（株） 四 変 テ ッ ク（株） （株）ﾀﾞｲﾍﾝ タカオカ化成工業（株）※ 2 （株）東 光 高 岳 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾂﾑｽﾞ（株） 日 新 電 機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機（株） （株）明 電 舎 利 昌 工 業（株） ※ 2				
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの								
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの								
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの								
自動閉鎖装置	連動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの								
非常放送装置の蓄電池	J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの								
非常警報装置（非常ベル）	日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの								
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの								
構内交換装置	（財）電気通信端末機器 審査協会の認定品								

電 気 設 備 機 材 指 定 表	
工 事 名	南国市保健福祉センター屋根改修工事

ARTICLE			担当	係長	課長	PROJECT	南国市保健福祉センター屋根改修工事	DATE		A L 建築設計事務所株式会社 Architect Laboratory design office Co., Ltd. 高知市高知1-5-1 三建ビル4F Tel/Fax:088-881-1676 一級建築士事務所 高知県知事許可 第1278号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第327025号 辻本 一英	DRAW	PAGE NO.
						SUBJECT	電気設備機材指定表	SCALE	NOSCALE			E — 02



2階平面図 S=1/200



1階平面図 S=1/200